令和7年6月10日 開会

令和7年6月20日 閉会

令和7年第2回安八町議会 定例会会議録

岐阜県安八町議会

目 次

6月10日（火）

議事日程	1
議長及び出席議員	1
地方自治法第121条第1項の規定により議場に出席した者	2
職務のために出席した者	2
開会	3
会議録署名者決定	3
会期決定	3
議第37号について（提案説明・採決）	4
議第38号から議第42号までについて（提案説明・質疑・討論・採決）	5
議第43号について（提案説明・質疑・委員会付託）	9
議第44号及び議第45号について（提案説明・質疑・委員会付託）	11
議第46号について（提案説明・質疑・委員会付託）	15
議第47号について（提案説明・質疑・委員会付託）	16
議第48号について（提案説明・質疑・委員会付託）	23
議第49号について（提案説明・質疑・委員会付託）	25
報第1号について（提案説明・質疑）	26
散会	28
会議録署名議員	29

6月20日（金）

議事日程	31
議長及び出席議員	31
地方自治法第121条第1項の規定により議場に出席した者	32
職務のために出席した者	32
開議	33
会議録署名者決定	33

一般質問	3 3
3 番 西松幸子議員	3 3
4 番 傍嶋邦博議員	3 8
7 番 石原英一議員	4 7
2 番 渡辺康司議員	5 0
5 番 坂 悟議員	5 2
1 番 栗原宏行議員	5 8
特別委員会報告	6 3
議会改革特別委員会	6 3
常任委員会報告	6 3
民生文教常任委員会	6 4
総務産建常任委員会	6 4
議第43号について（討論・採決）	6 5
議第44号について（討論・採決）	6 5
議第45号について（討論・採決）	6 6
議第46号について（討論・採決）	6 6
議第47号について（討論・採決）	6 6
議第48号について（討論・採決）	6 7
議第49号について（討論・採決）	6 7
報第 2 号について（提案説明・質疑）	6 7
議第50号について（提案説明・質疑・討論・採決）	7 1
議第51号について（提案説明・質疑・討論・採決）	7 3
閉会	7 5
会議録署名議員	7 6

令和7年6月10日（第1日）

議 事 日 程 (令和7年6月10日第1日)

- 日程第1 会議録署名者決定
- 日程第2 会期決定
- 日程第3 議第37号 教育委員の任命につき同意を求める件
- 日程第4 議第38号 財産の取得について
- 日程第5 議第39号 財産の取得について
- 日程第6 議第40号 財産の取得について
- 日程第7 議第41号 財産の取得について
- 日程第8 議第42号 財産の取得について
- 日程第9 議第43号 安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第10 議第44号 安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第11 議第45号 安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第12 議第46号 安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第13 議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算(第1号)
- 日程第14 議第48号 令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 日程第15 議第49号 町道路線の廃止について
- 日程第16 報第1号 令和6年度安八郡安八町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

1、本日の議長及び出席議員は次のとおりである。

議長 岩 田 讓 治

○出席議員(10名)

1番 栗原宏行	2番 渡辺康司	3番 西松幸子
4番 傍嶋邦博	5番 坂 悟	6番 渡邊裕光
7番 石原英一	8番 大平文雄	9番 岩田讓治

10番 山 中 美恵子

○欠席議員（なし）

1、地方自治法第121条第1項の規定により議場に出席した者は次のとおりである。

町 長	岡 田 立	副 町 長	山 田 恭
教 育 長	青 山 桂 子	会 計 管 理 者	坂 和 由
総 務 課 長	河 合 一	税 務 課 長	堀 迫 秀 紀
生活環境課長	定 益 直 子	福 祉 課 長 兼 安 八 温 泉 所 長	山 田 靖
こども家庭課長	田 中 弓	ま ち づ くり 推 進 課 長	大 平 共 美
農 政 課 長	松 岡 政 司	教 育 課 長 兼 ハ ー ト ビ ア 安 八 館 長	梅 村 明 広

1、本日の職務のために出席した者の氏名は次のとおりである。

議会事務局長	渡 邊 茂 且	書 記	川 添 順 子
書 記	宇 佐 見 かおる		

(開会時間 午前10時00分)

議長 皆さん、おはようございます。

数年前から、安八町の議会でも透明性を確保するという事で、放映したりユーチューブで流したらどうだといろんなことを何年も前から検討してまいりまして、やっとこの6月からケーブルテレビさんが入るということで、今までやってきたことがやっと報われるということでございます。

今日は初日ということでケーブルテレビの準備がされておられませんけれども、最終日の20日、一般質問のみをケーブルテレビさんが入って撮られるということで、どうか質問される方、あるいは答弁される方、前向きに、なおかつ建設的な、そういう御質問をお願いしたいというふうに望むわけでございます。

それでは、ただいまから始めてまいりたいというふうに思っております。

ただいまの出席議員は10名であります。したがって、定足数に達しておりますので、ただいまから令和7年第2回安八町議会定例会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。

議長 日程第1、会議録署名者の決定について、私から指名をいたします。

本日の会議録署名者は、4番 傍嶋邦博議員、5番 坂悟議員を指名いたします。

議長 日程第2、会期決定についてお諮りいたします。

本定例会の日程は、本日から6月20日までの11日間をこれにしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、会期は本日から6月20日までの11日間にすることに決定いたしました。

議長 町長から発言の申出がありますので、これを許します。

岡田町長。

町長 皆さん、改めましておはようございます。

本日は、令和7年第2回安八町議会定例会を招集しましたところ、議員各

位におかれましては、大変お忙しい中、御参集賜り誠にありがとうございます。

東海地方では昨日梅雨入りが発表されました。一般的に梅雨前線は発達しにくいと言われておりまして、しとしとと長く続く雨というのが我々の中にはイメージとしてございます。しかし近年は降り方も変わり、昨年はこの時期に大雨に見舞われ、郡上地方では避難勧告が出るなど、長良川下流の私たちも少々心配をしたことを思い出します。

今年も大きな災害が日本各地で発生するかもしれません。それは我が町という可能性もございます。絶えず安全で安心して暮らせるまちづくりというものを実現するため、いざというときに、そしてまさかに備えて準備や体制づくりをしっかりと行っていく所存でございます。

それでは、本定例会に提案させていただきます議案は、教育委員の任命同意をはじめ、令和7年度一般会計・特別会計補正予算、財産の取得、条例の一部改正などの13議案でございます。

個々の案件につきましては、担当より説明をさせていただきますので、十分御審議いただき、適切な御議決を賜りますようお願い申し上げまして、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

議長 これより議案の提案審議に入ります。

提案説明される方をお願いをいたします。説明は簡潔明瞭をお願いをいたします。

議長 日程第3、議第37号 教育委員の任命につき同意を求める件を議題といたします。

提案説明を求めます。

岡田町長。

町長 それでは、1ページをお願いいたします。

議第37号 教育委員の任命につき同意を求める件について、朗読、説明申し上げます。

教育委員を次のとおり任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第4条第2項の規定により、議会の同意

を求めるものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

記といたしまして、住所、安八町東結1506番地の8。氏名、板屋千都世。
生年月日、昭和47年6月4日生まれ。

提案理由といたしまして、教育委員4名のうち、菊田美由紀さんが一身上の都合により辞職したい旨の申出があり、4月末付で受理させていただき、現在1名欠員となっております。そこで、後任として板屋千都世さんを任命したいと思います。

板屋さんは、結小学校PTA役員を歴任されており、母親の立場から教育支援に御尽力をいただいております、人格高潔で教育実情にも理解が深く、委員として適任であると考えますので、御同意いただきますようお願いいたします。

議長 本件については、質疑及び討論を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認め、議第37号について採決を行います。

本件について原案どおり同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第37号は原案どおり同意することに決定をいたしました。

議長 日程第4、議第38号から日程第8、議第42号までの財産の取得についての議案を一括議題としたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、日程第4、議第38号から日程第8、議第42号までを一括議題とすることに決定をいたしました。

提案説明を求めます。

河合総務課長。

総務課長 議案書の3ページをお願いいたします。

議第38号から議第42号までの5議案につきまして御説明申し上げます。

議第38号 財産の取得について。

次のとおり財産を取得したいので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第8号及び安八町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年安八町条例第2号）第3条の規定により、議会の議決を求めるものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

記といたしまして、1. 財産の種類及び数量、トイレトレーラー1台。

2. 取得の目的、災害時におけるトイレ環境を整備し、避難所の生活環境を改善するとともに、平常時には防災訓練やイベント等で活用し、住民の防災意識の高揚を図るため。

3. 取得の方法、随意契約。

4. 取得価格、2,530万円。

5. 契約の相手方、東京都中央区勝どき三丁目12番1号フォアフロントタワー12階、J Pホームサプライ株式会社、代表取締役社長 松浦健之。

1枚はねていただきまして、5ページをお願いいたします。

議第39号 財産の取得について。

提案文、提出日、町長名の朗読は、前の議第38号と議第42号まで同一文のため割愛をさせていただきます。

記といたしまして、1. 財産の種類及び数量、軽小型消防車1台。

2. 取得の目的、狭隘道路の存在する住宅密集地内においても、消防団員に迅速かつ機動的に消火・救助活動を展開させるため。

3. 取得の方法、指名競争入札。

4. 取得価格、897万6,000円。

5. 契約の相手方、岐阜県岐阜市金園町3丁目25番地、株式会社ウスイ消防、代表取締役 臼井潔。

1枚はねていただきまして、7ページをお願いいたします。

議第40号 財産の取得について。

記といたしまして、1. 財産の種類及び数量、自動ラップ式トイレ及びトイレ用テント20組。

2. 取得の目的、災害時におけるトイレ環境を整備し、避難所の生活環境を改善するとともに、平常時には防災訓練やイベント等で広く啓発し、住民の防災意識の高揚を図るため。

3. 取得の方法、指名競争入札。

4. 取得価格、776万6,000円。

5. 契約の相手方、岐阜県大垣市中野町2丁目4番地、アンシンク株式会社大垣店、大垣店店長 藤田隆昭。

1枚はねていただきまして、9ページをお願いいたします。

議第41号 財産の取得について。

記といたしまして、1. 財産の種類及び数量、ポータブル電源15台、インバーター発電機10台。

2. 取得の目的、災害時において機動力のある電源を確保し、避難所の生活環境の維持と改善を図るとともに、平常時には防災訓練やイベント等で活用し、住民の防災意識の高揚及び操作の習熟度を高めるため。

3. 取得の方法、指名競争入札。

4. 取得価格、849万7,500円。

5. 契約の相手方、岐阜県岐阜市真砂町4丁目15番地、株式会社三陽商会岐阜支店、支店長 西川雅之。

1枚はねていただきまして、11ページをお願いいたします。

議第42号 財産の取得について。

記といたしまして、1. 財産の種類及び数量、テント式パーティション250張、テント式パーティション用天幕125張。

2. 取得の目的、災害時における避難所のプライバシーを確保して生活環境の改善を図るとともに、平常時には防災訓練やイベント等で広く啓発し、住民の防災意識の高揚を図るため。

3. 取得の方法、指名競争入札。

4. 取得価格、994万1,250円。

5. 契約の相手方、岐阜県岐阜市真砂町4丁目15番地、株式会社三陽商会岐阜支店、支店長 西川雅之。

ただいま御説明申し上げました車両、物品等の財産の取得につきましては、新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）を活用し、軽の小型消防車や非常用電源など、機動力のある機材を整備して防災力の向上に努めるとともに、災害時におけるトイレ環境の整備やテント式パーティションを整備して避難所の生活環境を改善するとともに、避難者のプライバシ

一を確保して避難所生活の負担を軽減し、災害関連死の防止につなげるものでございます。

なお、これらの防災備蓄資機材は、平常時には防災訓練やイベントなどで使用したり展示したりして、災害時には直ちに使用できるよう住民に広く存在を周知し、防災意識の高揚に努めるものでございます。

以上、財産の取得に係る5議案につきまして、よろしく御審議いただきますようお願いをいたします。

議長 議第38号 財産の取得についての質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑を打ち切り、討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第38号は原案どおり可決いたしました。

続いて、議第39号 財産の取得についての質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑を打ち切り、討論を行います。

討論ございませんか。

〔「討論なし」の声あり〕

議長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第39号は原案どおり可決いたしました。

続いて、議第40号 財産の取得についての質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑を打ち切り、討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第40号は原案どおり可決いたしました。

続きまして、議第41号 財産の取得についての質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議 長 質疑を打ち切り、討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第41号は原案どおり可決いたしました。

続きまして、議第42号 財産の取得についての質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議 長 質疑を打ち切り、討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第42号は原案どおり可決いたしました。

議 長 日程第9、議第43号 安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明を求めます。

河合総務課長。

総務課長 議案書の13ページをお願いいたします。

議第43号につきまして御説明申し上げます。

議第43号 安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について。

安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

提案説明といたしまして、マイナンバーの利用及び情報連携に係る規定の見直しに伴い、独自利用事務、独自提供事務を整備するため、本条例の一部を改正するものであります。

1枚はねていただきまして、15ページをお願いいたします。

安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例。

安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例（平成27年安八町条例第21号）の一部を次のように改正する。

以下は改正本文でございます。

改正内容につきましては、別冊の議案資料で御説明申し上げます。

議案資料の1ページをお願いいたします。

安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例新旧対照表でございます。左の列が改正前、右列が改正後となります。

第4条の改正は、個人番号の利用できる範囲として、第1項では特定個人番号を利用する実施主体に、第3項では庁内連携ができる機関に、町長のほか安八町教育委員会を加えるものでございます。

続きまして、特定個人情報の提供として第5条を新設し、町は教育委員会が事務を処理するために必要な情報を提供できる独自提供事務について規定をいたします。また、第5条を第6条に繰り下げ、「町長が別に」を「規則で」に委任先の字句を改めます。

2ページをお願いいたします。

別表第1（第4条関係）では、町長が特定個人番号を第1項の福祉医療費助成事務、第2項の放課後児童クラブの事務に加え、独自に利用できる事務として、第3項の第2欄、安八町特定教育・保育施設等の利用者負担額等を定める条例による利用者負担額の徴収に関する事務、第4項第2欄の予防接種法による給付の支給または実費の徴収に関する事務を加えます。

中段の別表第2（第4条関係）では、第1項第1欄に掲げる町長が第2欄の安八町福祉医療費助成に関する事務から、ページ少し飛びますが、15ページまでの第20項第2欄の児童扶養手当の支給に関する事務を処理するために必要な特定個人情報を、第3欄に掲げる事務を処理する機関が所有する特定個人情報につき、情報ネットワークシステムを利用して取得できる業務、庁内で情報連携できる業務として規定をいたします。

16ページをお願いいたします。

新たに別表第3（第5条関係）を加え、第1欄に掲げる教育委員会が第2欄第1項の学校保健安全法による事務、第2項の就学援助費の認定事務を処理するために、第3欄の町長に情報提供を求めた場合、第4欄に掲げる障害者、生活保護、地方税関係などの特定個人情報を提供できる独自提供事務を規定するものでございます。

議案書の本文へお戻りいただきまして、28ページをお願いいたします。

最下段となります、附則でございます。

この条例は公布の日から施行するものでございます。

以上、御審議いただきますよう、よろしく願いをいたします。

議長 ただいまより総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第43号は、会期内の総務産建常任委員会に付託の上、審査いただくということで、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第43号は会期内の総務産建常任委員会に付託の上、審査していただくことに決定をいたしました。

議長 日程第10、議第44号 安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について、日程第11、議第45号 安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についての2議案を一括議題としたいと

と思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、日程第10、議第44号と日程第11、議第45号を一括議題とすることに決定し、これを議題といたします。

提案説明を求めます。

田中こども家庭課長。

こども家庭課長 それでは、議第44号と議第45号につきましては、関連するものから一括して御説明申し上げます。

それでは、議案書29ページをお願いいたします。

議第44号 安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について説明をさせていただきます。

安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

提案説明といたしまして、子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令（令和7年内閣府令第7号）による家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するものであります。

31ページをお願いいたします。

安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。

安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年安八町条例第10号）の一部を次のように改正する。

以下は改正本文でございます。

改正の内容につきましては、議案資料で御説明いたします。議案資料19ページをお願いいたします。

安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例新旧対照表。左列が改正前、右列が改正後でございます。

改正の内容といたしましては、連携施設の経過措置の延長、保育内容支援及び代替保育に係る連携施設の見直し、その他所要の改正となります。

それでは、新旧対照表を御覧ください。

第6条では、保育所等との連携について規定していますが、内閣府令に合

わせて文言の修正と、新たに第2項、第3項を追加することによる文言の追加及び現在の第2項以降の項が2項ずつ繰り下がる項ずれに伴う修正でございます。

20ページをお願いいたします。

第2項では、保育内容支援の提供に係る連携施設の確保が著しく難しい場合であって、必要な適切な支援が行うことができると町長が認める場合においては、連携施設を確保しないこととすることができる措置の規定を追加しています。

第3項では、保育内容支援連携協力者として、職員資格の全員が保育士である小規模保育事業A型、半数以上が保育士である小規模保育事業B型または事業所内保育事業を行う者を規定しています。

第4項では、代替保育に係る連携施設については、改正前の第2項において規定されておりますが、連携協力を行う者の確保が著しく困難な場合と認められる場合においても、代替保育に係る連携施設を確保しないこととすることができる規定を追加しております。

21ページをお願いいたします。

第5項では、代替保育連携協力者についての規定をしています。

附則の第3条では、連携施設に係る経過措置として「10年」を「15年」に改めています。

議案書の32ページに戻っていただき、附則でございます。

この条例は公布の日から施行するとなります。

続いて、議案書33ページをお願いいたします。

議第45号 安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について御説明いたします。

安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

提案説明として、子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令による特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い本条例を改正するものがあります。

35ページをお願いいたします。

安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。

安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年安八町条例第11号）の一部を次のように改正する。

以下、改正本文でございます。

改正の内容につきましては、議案資料で御説明いたします。

議案資料23ページをお願いいたします。

安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例新旧対照表。改正の内容としましては、議第44号と同様に連携施設の経過措置の延長、保育内容支援及び代替保育に係る連携施設の見直し、その他所要の改正でございます。

それでは、対照表を御覧ください。

第37条では、第42条において新たに項を追加することによる文言の追加及び項ずれに伴う修正でございます。

第42条では、新たに第2項及び第3項を追加し、現在の第2項以降の項が2項ずつ繰り下がることから、引用についても改めています。

24ページをお願いします。

中段、第2項では、特定地域型保育事業者において、保育内容支援の提供に係る連携施設の確保が著しく難しい場合であって、必要な適切な支援が行うことができると町長が認める場合においては、連携施設を確保しないこととすることができる措置の規定をしています。

第3項では、保育内容支援連携協力者として、小規模保育事業A型、小規模保育事業B型又は事業所内保育事業を行う者を規定しています。

第4項では、代替保育に係る連携施設の設定について、改正前の第2項において地域型保育事業者同士の連携を可能とする緩和措置が設けられていますが、代替保育に係る連携先の確保が著しく困難であると認められる場合においても、代替保育に係る連携施設を確保しないこととすることができることが追加されています。

25ページの第5項では、代替保育連携協力者についての規定をしています。

26ページをお願いいたします。

附則の第5条、連携施設に係る経過措置の「10年」を「15年」に改めます。
議案書の36ページに戻っていただきます。

附則でございますが、この条例は公布の日から施行するものとなります。

以上、御審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

議長 ただいまより総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第44号並びに議第45号は、会期内の民生文教常任委員会に付託の上、審査していただくことで、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第44号並びに議第45号は会期内の民生文教常任委員会に付託の上、審査していただくことに決定をいたしました。

議長 日程第12、議第46号 安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明を求めます。

大平まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 議案書37ページをお願いいたします。

議第46号につきまして御説明させていただきます。

議第46号 安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について。

安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

提案説明でございますが、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令（令和6年政令第221号）の施行に伴

い、本条例の一部を改正するものであります。

1枚はねていただきまして、安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。

安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例（平成25年安八町条例第10号）の一部を次のように改正する。

以下、本文でございます。

内容につきましては、別冊資料にて御説明します。

別冊の資料27ページをお願いいたします。

安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の新旧対照表でございます。右側が改正後、左側が改正前でございます。

条例第3条、園路及び広場において根拠法令である高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令に条文が追加されたため、今回の改正において第3条第6号中、「第21条第2項第1号」を「第22条第2項第1号」に改めるものでございます。

議案書にお戻りいただきまして、39ページをお願いいたします。

附則といたしまして、この条例は公布の日から施行する。

以上、御審議をいただきますようよろしくお願いいたします。

議長 ただいまより総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑はなしと認めます。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第46号は、会期内の総務産建常任委員会に付託の上、審査していただくことで、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第46号は会期内の総務産建常任委員会に付託の上、審査していただくことに決定をいたしました。

議長 日程第13、議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第1

号)を議題といたします。

提案説明を求めます。

河合総務課長。

総務課長 議案書の41ページをお願いいたします。

議第47号につきまして御説明申し上げます。

議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算(第1号)。

令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2,750万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ72億2,750万8,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(債務負担行為の補正)第2条、債務負担行為の追加は、「第2表 債務負担行為補正」による。

(地方債の補正)第3条、地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

1枚はねていただきまして、43ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正。以下の表、単位は1,000円でございます。

こちらの43ページが歳入、裏面の44ページから45ページにかけて歳出でございます。

いずれも補正前の額70億円にそれぞれ2億2,750万8,000円を追加し、72億2,750万8,000円とするものでございます。

ページ少し飛びまして、48ページをお願いいたします。

2の歳入でございます。

特定財源につきましては、歳出で御説明申し上げます。

下の49ページ、2段目の款、繰入金、項、基金繰入金、目の財政調整基金繰入金、補正額2,494万6,000円につきましては、今回の補正による財源調整のため、基金から繰り入れるものでございます。

裏面の50ページをお願いいたします。

3の歳出でございます。

歳出のうち、50ページから61ページまでの節区分、1の報酬、2の給料、3の職員手当等、4の共済費、8の旅費の人件費関係につきましては、令和7年4月1日付職員の人事異動に伴う各科目間の組替え、また会計年度任用職員の採用に伴う通勤手当の額などの確定により補正を行うもので、説明は省略をさせていただきます。

最初に、総務課分について御説明申し上げます。

50ページの下段の表、款、総務費、項、総務管理費、目の一般管理費、補正額1億9,571万8,000円、財源内訳、特定財源、国県支出金のうち、国庫支出金3,476万3,000円は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、その他、諸収入1億4,160万円はプレミアム商品券の販売代金でございます。

昨年度の国の補正予算を受け、生活者物価高騰対策支援事業として1億8,257万9,000円の補正をお願いするもので、今回も第3弾となるプレミアム商品券事業を実施いたします。内訳といたしましては、下の51ページになりますが、節区分、需用費393万円は文具等の消耗品、クーポン券やクーポン引換えはがきの印刷代等でございます。

節区分、役務費164万9,000円は、クーポン引換えはがきの郵送代やクーポン取扱事業所への振込手数料でございます。

節区分、負担金、補助及び交付金1億7,700万円は、クーポン取扱事業所への補助金でございます。

続きまして、51ページ上段の下部、目の情報管理費、補正額275万8,000円、住民の利便性の向上、行政運営の効率化を図るため、年内の完了をめどにシステムの標準化を現在進めております。つきましては、職員の執務用パソコンを新システムに対応させるため更新の必要が生じたので、職員用パソコン80台に係るリース料7か月分の補正をお願いするものでございます。

議長 定益生活環境課長。

生活環境課長 続きまして、生活環境課分でございます。

議案書50ページをお開きください。

下段の款、総務費、項、総務管理費、目、一般管理費、補正額1億9,571万8,000円のうち、生活環境課分としまして、コミュニティバス運行経費に係る補正として72万円でございます。全て一般財源でございます。

議案書51ページ上段、節区分、需用費、印刷製本費、補正額358万円のうち、72万円はデマンドバス実証実験開始に向けて、住民への周知用チラシの印刷製本費、バス停表示切替えのための表示シートの印刷製本費でございます。

1枚はねていただきまして、52ページ上段をお願いいたします。

項目とも戸籍住民基本台帳費、補正額、減額の274万5,000円のうち、戸籍住民基本台帳事務経費に係る補正として減額の274万5,000円でございます。全て一般財源でございます。

節区分、委託料、業務委託、補正額85万5,000円は、戸籍への振り仮名記載に伴う窓口の混雑緩和等業務改善のための番号札自動発券機の導入費用でございます。

2枚はねていただきまして、56ページ上段、款、衛生費、項、清掃費、目、塵芥処理費、補正額20万円、全て一般財源でございます。

節区分、繰出金、補正額20万円は、この後御説明いたします土地取得特別会計補正予算（第1号）において、次期最終処分場用地取得に係る諸経費分として、一般会計からの繰出金を増額するものでございます。

議長 山田福祉課長兼安八温泉所長。

福祉課長兼安八温泉所長 続きまして、福祉課分について御説明させていただきます。

議案書の52ページ下段をお願いいたします。

款、民生費、項、社会福祉費、目、社会福祉総務費、補正額、減額の264万7,000円であります。

財源内訳といたしまして、特定財源で国庫支出金153万円は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金であります。今回、高齢者福祉施設等を運営する事業者、法人に対し、エネルギー価格や食料品価格の高騰に対する支援のため、物価高騰対策支援事業を行うものであります。

事業費の内訳といたしまして、節区分、需用費の消耗品費2万円と、次の53ページ上段の役務費の通信運搬費1万円は、それぞれ事務用品購入や申請書等の郵送料を計上しております。

次に、負担金、補助及び交付金、補助金150万円は、対象となる事業者法人に対し、物価高騰対策支援金を交付するものであります。

53ページ中ほどの目、老人福祉費、補正額、増額の134万3,000円であります。

財源内訳といたしまして、特定財源で国庫支出金132万5,000円は、先ほどと同様の物価高騰対応の地方創生臨時交付金であります。

節区分、需用費の消耗品費132万5,000円は、敬老会の記念品経費であります。今回、当初予算で計上した1人当たりの記念品単価500円を、昨今の物価高騰に鑑み、さらに500円分上乗せ拡充いたしまして、合計で1人当たり1,000円分とし、その上乗せ分を補正するものであります。

議長 田中こども家庭課長。

こども家庭課長 続いて、こども家庭課分でございます。

議案書の54ページをお願いいたします。

款、民生費、項、児童福祉費、目、児童福祉総務費、補正額、増額の813万2,000円のうち、委託料の業務委託43万円は、産後ケア事業費の増額をお願いするものでございます。

財源内訳の特定財源は、国・県ともに子ども・子育て支援事業費補助金で、国21万4,000円、県10万7,000円です。4月に出産された方で宿泊型6泊7日の利用申請があったことに加え、デイサービス型も6回と予算を上回る申請があったため、増額をお願いするものでございます。

続きまして、目、保育所費、30万円の指定寄附がありましたので、財源内訳の変更をお願いするものです。なお、これによる予算の増減はございません。

55ページをお願いいたします。

目、放課後児童クラブ費、補正額、増額の3万円、こちらも指定寄附金がありましたので、需用費の消耗品費3万円の補正をお願いするものでございます。

議長 松岡農政課長。

農政課長 続きまして、農政課分でございます。

56ページ、下の表をお願いいたします。

款、農林水産業費、項、農業費、目、農業振興費、補正額113万2,000円、特定財源の県支出金は、岐阜県元気な農業産地構造改革支援事業費補助金でございます。

節区分、負担金、補助及び交付金の補助金113万2,000円は、カントリーエレベーターの穀粒選別機を更新するに当たりまして、県補助金内報がありましたので、補正をお願いするものでございます。

議長 大平まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 続きまして、まちづくり推進課分でございます。

47ページへ戻っていただきますようお願いをいたします。

第3表 地方債補正でございます。上段が補正前、下段が補正後でございます。

公共事業等債の限度額を920万円増額して6,670万円とし、起債の総額を1億2,480万円とするもので、その他の項目には変更はございません。

続きまして、58ページの中段をお願いいたします。

款、土木費、項、道路橋りょう費、目、道路維持費、補正額、増額の3,095万円、財源内訳といたしまして、特定財源の国県支出金のうち、国庫支出金、増額の1,547万5,000円は社会資本整備総合交付金でございます。地方債、増額の1,390万円は公共事業等債でございます。

節区分、工事請負費、増額の3,095万円は、道路維持経費として社会資本整備総合交付金の内示額に合わせ、舗装補修路線の増とさせていただき、事業費の増額補正をお願いするものでございます。

続きまして、項、都市計画費、目、都市計画整備事業費、補正額、減額の1,056万円、財源内訳といたしまして、特定財源の国県支出金のうち、国庫支出金、減額の528万円は社会資本整備総合交付金でございます。地方債、減額の470万円は公共事業等債でございます。

節区分、工事請負費、減額の1,056万円は、都市計画整備道路改良事業の国庫支出金の社会資本整備総合交付金の交付内示が当初予算を下回りましたので、内示額に合わせ、都市計画整備、道路改良事業の工事請負費の減額補正をお願いするものでございます。

議長 梅村教育課長兼ハートピア安八館長。

教育課長兼ハートピア安八館長 続きまして、教育委員会分でございます。

議案書、ページ戻っていただきまして、46ページをお願いいたします。

第2表 債務負担行為補正、1件追加するものです。

事項といたしまして、4. 校務支援システム構築・運用業務、期間は令和

8年度、限度額は359万3,000円、補正理由でございますが、今回の一般会計補正予算（第1号）にてお願いいたします校務支援システムの更新につきましては、岐阜県にて県下の小・中学校分を一括発注するものとなり、更新作業に時間を要しますので、債務負担行為を設定し、令和7年度に契約を締結するものでございます。

続きまして、ページが飛びますが、59ページをお願いいたします。

下段の表、款、教育費、項、小学校費、目、学校管理費、補正額、増額の879万円、財源内訳の特定財源、国県支出金のうち、国庫支出金144万8,000円は公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金、県支出金19万円はふるさと魅力体験事業委託金、その他の寄附金3万円は小学校費寄附金でございます。

一番右の説明欄、4段目にございますふるさと魅力体験事業は、ふるさと魅力体験事業委託金を活用し、小・中学生が県の施設を見学してふるさとの魅力を体験するものでございます。

節区分の需用費、消耗品費2万9,000円は画用紙などの購入費用、役務費の損害保険料7,000円は研修の際の保険料、使用料及び賃借料15万6,000円は送迎バスの賃借料でございます。

説明欄の3段目の小学校教育振興経費に係る補正としまして、2点ございます。

1点目は、節区分、委託料の業務委託488万8,000円は、教職員が児童の名簿管理、成績処理、出席簿等の管理に使う校務支援システムを更新するもので、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金を特定財源として実施するものでございます。

2点目につきましては、1枚はねていただきまして、60ページ上段をお願いいたします。

節区分の備品購入費3万円につきましては、小学校費寄附金を活用いたしまして、牧小学校の図書を購入するものでございます。

説明欄の1段目の小学校施設管理経費は、節区分の工事請負費332万4,000円、名森小学校保健室と牧小学校職員室の空調機器更新工事及び牧小学校の地下式防火水槽の補修工事でございます。

項、中学校費、目、学校管理費、補正額、増額の168万3,000円、財源内訳

の特定財源、国庫支出金49万8,000円は、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金でございます。

中学校教育振興経費に係る補正といたしまして、節区分、委託料の業務委託168万3,000円は、教職員が生徒の名簿管理、成績処理、出席簿等の管理に使う校務支援システムを更新するものでございます。

以上、議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第1号）の説明を終わります。御審議を賜りますようお願いいたします。

議長 ただいまより総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第47号は、会期内の各委員会に付託の上、審査していただくことで、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第47号は会期内の各常任委員会に付託の上、審査していただくことに決定をいたしました。

議長 日程第14、議第48号 令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

提案説明を求めます。

定益生活環境課長。

生活環境課長 それでは、議第48号につきまして御説明申し上げます。

議案書63ページをお開きください。

議第48号 令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算（第1号）。

令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ590万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3,290万円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並び

に補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正) 第2条、地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

1枚はねていただきまして、65ページ、第1表 歳入歳出予算補正。単位は1,000円でございます。上段の表が歳入、下段の表が歳出です。

歳入歳出とも合計として補正前の額2,700万円、補正額590万円、計3,290万円でございます。

1枚はねていただきまして、66ページをお願いいたします。

第2表 地方債補正。単位は1,000円でございます。

補正前及び補正後の起債の方法、利率、償還の方法につきましては変更ございません。

公共用地先行取得等事業債の限度額を570万円増額し、3,230万円とします。これは、次期最終処分場用地取得における事業費の確定により増額補正をお願いするものであります。

続きまして、67ページをお願いいたします。

歳入内訳の表でございます。

歳入につきましては、全て特定財源のため歳出で御説明いたします。

1枚はねていただきまして、68ページをお願いいたします。

歳出内訳の表でございます。

款項目とも土地取得事業費、補正額572万9,000円、財源内訳として特定財源、地方債、公共用地先行取得等事業債570万円と繰入金、一般会計繰入金2万9,000円でございます。

節区分、役務費5,000円は、土地の売買契約に必要な収入印紙代でございます。

節区分、公有財産購入費724万8,000円は、次期最終処分場用地取得費用でございます。

節区分、補償、補填及び賠償金、減額の152万4,000円は、地権者の御意向により樹木の移植が必要なくなったため減額するものでございます。

続きまして、款項目とも公債費、目、利子、補正額17万1,000円、財源内訳として特定財源、繰入金、一般会計繰入金17万1,000円でございます。

節区分、償還金、利子及び割引料17万1,000円は、追加で地方債を借入れ
することに伴う公債費償還利子の増額分でございます。

以上、御審議賜りますよう、よろしく願いいたします。

議長 ただいまより総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「ありません」の声あり〕

議長 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第48号は、会期内の民生文教常任委員
会に付託の上、審査していただくことで、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第48号は会期内の民生文教常任委員
会に付託の上、審査していただくことに決定をいたしました。

議長 日程第15、議第49号 町道路線の廃止についてを議題といたします。

提案説明を求めます。

大平まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 議案書69ページをお願いいたします。

議第49号につきまして御説明させていただきます。

議第49号 町道路線の廃止について。

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第3項において準用する同法第8
条第2項の規定により、議会の議決を求めるものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

1枚はねていただきまして、71ページをお願いいたします。

廃止する路線は、整理番号1、路線名、元沼1号線の氷取字元沼533番地
先から氷取字元沼529番地先の延長56.8メートルでございます。現況を踏ま
えて、申出等により路線の廃止をお願いするものでございます。

73ページは廃止路線網図で、今回廃止する路線を青線でお示しさせてい
ただいております。

以上、議第49号につきまして御審議いただきますようよろしく願いを
いたします。

議長 ただいまより総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「ありません」の声あり〕

議長 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第49号は、会期内の総務産建常任委員会に付託の上、審査していただくことで、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第49号は会期内の総務産建常任委員会に付託の上、審査していただくことに決定をいたしました。

議長 日程第16、報第1号 令和6年度安八郡安八町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを議題といたします。

報告を求めます。

河合総務課長。

総務課長 議案書の75ページをお願いいたします。

報第1号につきまして御報告いたします。

報第1号 令和6年度安八郡安八町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について。

令和6年度安八郡安八町一般会計予算について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第146条第2項の規定により、別紙のとおり報告するものとする。

令和7年6月10日提出、安八郡安八町長。

1枚はねていただきまして、最終77ページをお願いいたします。

令和6年度安八郡安八町一般会計繰越明許費繰越計算書。単位は1,000円でございます。

令和6年度から令和7年度へ繰り越した事業は6事業でございます。

見出しを除いて1行目、款、民生費、項、社会福祉費、事業名、安八町物価高騰臨時対策支援事業、繰越額4,245万3,000円は、住民税非課税世帯への給付事業で、未収入特定財源のうち国県支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金でございます。

2行目の款、土木費、項、道路橋りょう費、事業名、道路維持経費、繰越額4,000万円は、大明神地内の町道舗装補修事業で、未収入特定財源のうち国県支出金2,000万円は、社会資本整備総合交付金、地方債2,000万円は、防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債でございます。

3行目の事業名、道路新設改良事業、繰越額2,900万円は、役場東側通学路としての歩道整備事業及び西結地内の町道改良事業で、未収入特定財源のうち国県支出金624万5,000円は、社会資本整備総合交付金、地方債460万円は、公共事業等債でございます。

4行目の項、都市計画費、事業名、都市計画事務経費、繰越額4,500万円は、都市計画におけるマスタープランの策定及び変更図書等の作成委託事業でございます。

5行目の事業名、都市計画整備道路改良事業、繰越額1億6,200万円は、安八スマートインターチェンジ東側、県道間アクセス道路、長良川右岸堤防道路との接続部における舗装など道路改良事業で、未収入特定財源のうち国県支出金8,100万円は、社会資本整備総合交付金、地方債8,100万円は、公共事業等債でございます。

最下段、款項とも消防費、事業名、防災事務経費、繰越額7,300万円は、避難所生活の負担軽減と環境改善のための防災資機材等の整備事業費でございます。未収入特定財源のうち国県支出金3,600万円は、新しい地方経済・生活環境創生交付金、地方債1,600万円は、一般補助施設等整備事業債でございます。

以上、令和6年度安八郡安八町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告とさせていただきます。

議長 本件について質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑を打ち切り、報第1号 令和6年度安八郡安八町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを終わります。

お諮りいたします。

各常任委員会の審査のため、6月11日から6月19日までの9日間を休会にしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。よって、6月11日から6月19日までの9日間を休会とすることに決定をいたしました。

以上で本日の日程を全て終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

(散会時間 午前11時16分)

上記のとおり会議の次第をここに記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年6月10日

議 長 岩 田 讓 治

議 員 傍 嶋 邦 博

議 員 坂 悟

令和7年6月20日（第2日）

議 事 日 程 (令和7年6月20日第2日)

- 日程第1 会議録署名者決定
- 日程第2 一般質問
- 日程第3 特別委員会報告
- 日程第4 常任委員会報告
- 日程第5 議第43号 安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第6 議第44号 安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第7 議第45号 安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第8 議第46号 安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第9 議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算(第1号)
- 日程第10 議第48号 令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 日程第11 議第49号 町道路線の廃止について
- 日程第12 報第2号 令和6年度安八郡安八町土地開発公社決算報告について
(追加議事日程)
- 日程第1 議第50号 安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 日程第2 議第51号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算(第2号)

1、本日の議長及び出席議員は次のとおりである。

議長 岩 田 讓 治

○出席議員(10名)

1番 栗原宏行	2番 渡辺康司	3番 西松幸子
4番 傍嶋邦博	5番 坂 悟	6番 渡邊裕光
7番 石原英一	8番 大平文雄	9番 岩田讓治
10番 山中美恵子		

○欠席議員（なし）

1、地方自治法第121条第1項の規定により議場に出席した者は次のとおりである。

町長	岡田立	副町長	山田恭
教育長	青山桂子	会計管理者	坂和由
総務課長	河合一	税務課長	堀迫秀紀
生活環境課長	定益直子	福祉課長兼 安八温泉所長	山田靖
こども家庭課長	田中弓	まちづくり推進課長	大平共美
農政課長	松岡政司	教育課長兼 ハートピア安八館長	梅村明広

1、本日の職務のために出席した者の氏名は次のとおりである。

議会事務局長	渡邊茂且	書記	川添順子
書記	梶井公歴		

(開議時間 午前10時00分)

議長 おはようございます。

最近は、おはようございますとかこんにちはじゃなしに、暑いですねというのが本音ではないかなというふうに思っております。どうぞ皆様方、御自愛を賜りますようお願いいたします。

それでは、ただいまから始めます。

ただいまの出席議員は10名であります。したがって、定足数に達しておりますので、ただいまから令和7年第2回安八町定例会の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元のとおりでございます。

議長 日程第1、議事録署名者決定について、私から指名をいたします。

本日の議事録署名者は、6番 渡邊裕光議員、7番 石原英一議員を指名いたします。

議長 日程第2、一般質問を行います。

それでは、質問通告により発言を許します。

質問の発言をされる方をお願いをいたします。再質問は2回までといたしますので、よろしくをお願いいたします。

最初に、3番 西松幸子議員。

3番 おはようございます。よろしくをお願いいたします。

通告に従いまして、私のほうから2点質問をさせていただきます。

まず初めに、高齢者へのエアコン購入助成事業創設について。

気象庁は、2024年の夏の平均気温が一昨年と並んで統計開始以来最も高かったと発表しています。毎年の猛暑から町民の命と健康をどう守るかが喫緊の課題となっています。

体温調整機能が低下している高齢の人、持病のある人には特別の配慮が必要であり、家庭のエアコンが命綱になっており、熱中症対策が多くの自治体で求められています。熱中症による健康被害が深刻化しているため、経済的な事情でエアコンを購入することが困難な65歳以上の独り暮らし、または高齢者のみ世帯、住民税非課税世帯（生活保護受給世帯も含む）に、高齢者エアコン購入助成事業の創設をお願いできませんか。

生活保護世帯には、自立更生を目的として恵与されるものは収入認定しないという考えで進めてください。

これからやってくる猛暑を乗り切っていかなければなりません。命に関わる重要な事業だと考えます。

また、昨年、熱中症対策として町施設をクーリングシェルターとして検討されました。あと数か所クーリングシェルターがあれば、町民の皆さんも安心だと思います。町内で協力していただけるお店や施設はないでしょうか。

2番目に、小・中学生のスマートフォン使用についてお伺いします。

3月の終わり、一宮市で高校生が死亡した事件がありました。ネットで見知らぬ者同士がゲームを通して知り合い、小・中学生もすることができるオンラインゲームが原因でした。

スマートフォンでもプレーができ、インターネット上でプレーヤー同士がつながるオンラインゲームをきっかけに、未成年が犯罪に巻き込まれる事例が相次いでいます。ゲーム中に音声でやり取りをするボイスチャット機能が使用されており、外部からの監視が難しいことも事態を深刻化させているのが現状です。

今、児童も生徒もスマートフォンを持っています。何でも見ることができ、ゲームもし放題です。LINEやインスタグラムなどで、友達同士やり取りもするでしょう。思春期の難しい年頃です。傷つき、悩むこともあると思います。そうしたやり取りが原因で、いじめや不登校などの問題が生じてくる場合もあると思います。

スマートフォンの使用は、学力低下や視力低下、寝不足といった子供の心身の成長に関する悪影響も唱えられていますので、学習や連絡、コミュニケーションなど適切に利用することが望まれます。

そこでお尋ねします。

携帯電話やスマートフォンの所持率は。

スマートフォンを使用したSNSによるトラブル発生状況と、その対応は。防止するための家庭での教育は。

当町では、どのような対策をされているのか、見解をお聞かせください。

議長 それでは、最初の質問に対して山田福祉課長兼安八温泉所長。

福祉課長兼安八温泉所長 西松幸子議員の1点目の御質問、高齢者へのエアコン購

入助成事業創設について回答させていただきます。

議員御指摘のとおり、近年の夏季の気温上昇は深刻であり、特に高齢者におかれましては熱中症のリスクが高く、適切な室温管理は健康維持の観点から極めて重要であると認識しております。

町におきましても、毎年、民生児童委員による高齢者や生活困窮者等への見守り活動において、熱中症予防に対する注意喚起を行っているところであります。

議員御質問のエアコン購入費用等の助成につきましては、国から本年3月に、4月1日から適用される生活保護世帯におけるエアコン購入費用の取扱い等に関する通知が出されております。生活保護開始時にエアコンが設置されていない高齢者世帯については、7万3,000円の範囲内で必要な額の保護費が支給されることになっております。

また、新設以外の買換え等を行う場合には、従来どおり毎月の保護費のやりくりの中で購入費用を賄うこととなりますが、やりくりが困難な場合には、現在、社会福祉協議会で行っている生活福祉資金の貸付制度を利用し、購入していただくこととされております。

町といたしましても、低所得者や高齢者世帯をはじめとする生活困窮世帯の方々からエアコン購入費用などの相談があった場合には、まずは生活福祉資金の貸付制度などを紹介しながら、適切に対応してまいります。

それから、議員御提案のエアコン購入費用の助成を行うには、対象世帯の選定基準や助成上限額をどうするかなど、様々な課題がございます。今後は、福祉関係者の方々の意見や考えを伺い、他市町村の事例等を調査研究してまいりたいと考えております。

最後に、当町のクーリングシェルターの設置状況につきましては、本年6月よりむすぶテラス及びハートピア安八の2か所の公共施設を指定しております。これにより、県下一斉に熱中症特別警戒アラートが発表されているときなどは、どなたでも自由に休息を取っていただけるようにいたしましたので、あらゆる機会を通じて町民の皆様幅広くPRしてまいります。

なお、議員御指摘のクーリングシェルターの追加指定につきましては、今後、町内の商業施設など協力していただける施設に依頼してまいりたいと考えております。

以上、西松幸子議員の1点目の御質問に対する回答とさせていただきます。
議長 それでは、2点目の質問に対して梅村教育課長兼ハートピア安八館長。

教育課長兼ハートピア安八館長 西松幸子議員の2つ目の御質問、小・中学生のスマートフォンの使用についてお答えいたします。

携帯電話やスマートフォンは、保護者の責任において購入し使用されているものと考えており、安八町内の学校では所持率について調査しておりません。しかしながら、国・子ども家庭庁から令和5年度の統計が報告されており、それによれば小学生の所持率は43%、中学生の所持率は79%でありました。

スマートフォン等を使用したSNS等のトラブルについては、令和6年度、町内の小・中学校で合わせて13件のトラブルがありました。トラブルは、小学校の高学年、そして中学生に見られます。トラブルの内容は様々ですが、友達を隠し撮りした画像を仲間に送信したり、LINEに悪口を書き込んだりするような事例が幾つか見られます。

SNSのトラブルについては、本来家庭の問題ではありますが、トラブルにより困っている子供たちの問題を解決するために、各校で生徒指導主事を中心にして聞き取りをして、問題解決に向け当事者に考えさせ、保護者に連絡した上で、必要に応じて謝罪の場を設けるなど、個別ケースに合わせた指導を行っております。

安八町では、携帯電話が普及し始めた平成27年頃から安八・ジュニアネットルールを子供たちが主体となってつくりました。そのルールの中には、携帯電話等の使い方を保護者と話し合っ決めてますとあり、保護者にはこのジュニアネットルールを周知し、子供の携帯電話の使い方をしっかり見守りいただくようお願いをしております。

また、各校では、保護者を対象とした情報モラルに関する講演会や研修会の実施のほか、生徒指導主事教諭だよりを保護者に配信し、またそうした中で、SNSで人を傷つけるような書き込みは犯罪行為に当たることや、画像の送信はすぐに消えないデジタルタトゥーとして残ることなど、自分の子供を犯罪に巻き込まれないようにすることの重要性を指導啓発しています。

さらに、長期休業前の三者懇談では、SNSの利用やオンラインゲーム等の使用時間について確認し、家庭での見届けをお願いしています。

デジタル時代を生きる子供たちにとって、情報モラルを守り、正しい情報機器の使い方を身につけることは重要です。保護者や家庭とのコミュニケーションを図りつつ、正しい判断力を身につけ、心豊かな子供の育成に向け、今後も学校、保護者・地域と一体となって教育を進めてまいります。

以上、西松幸子議員の2つ目の御質問に対する回答とさせていただきます。

〔3番議員挙手〕

議長 西松議員。

3番 ありがとうございます。

高齢者のエアコンへの購入助成事業ですけれども、全ての高齢者にエアコンというのは課題もまだ多いことから、国からの支援と貸付制度を利用させていただき、この熱中症対策、気をつけていただきたいと思います。

この連日の暑さで、ニュースでは昨日、池田町の90歳の男性が農作業に行き亡くなられたことが今日の新聞に載っておりました。また、道路で倒れて亡くなられたというニュースも毎日聞くようになりました。体温調整機能が低下している高齢者の方、持病のある方については、民生委員さんのほうから熱中症対策の声かけをしていただきたいと思います。

また、クーリングシェルターですが、ハートピアとむすぶテラスのほかに、あと数か所増やしていただきたくお願いをいたします。

スマートフォン使用についてですが、当町での対策、先生方、教育委員会、家庭とでしっかり対応していただいているようですので、ありがとうございます。

スマートフォンは、現代社会において便利なもの、なくてはならないものになっていますが、ふと気がつけば怖いものでもあります。子供たちは、勉強のほかに習い事や部活と忙しい生活を送っています。ストレスもたまるでしょう。ゲームをして発散することは、とてもいいことだと思います。時間を決めて切り上げる。だらだらといつまでもしない。多感な年代です。安八町の将来を担ってくれる大切な子供たちです。元気に先生や友達と楽しく学校生活を過ごしてほしいと願っております。

こういった問題は、今すぐ結果が出るものではありません。まずは、学校の先生方や地域の方たちと温かく見守っていくことが大切だと思います。

私の質問はこれで終わります。ありがとうございます。

議長 4番 傍嶋邦博議員。

4番 議長より発言許可をいただきましたので、私からは子供の権利についてとハラスメント条例について質問をいたします。

まず初めに、子供の権利についての質問から入らせていただきます。

1989年に、国連総会にて子どもの権利条約が採択され、日本においては1990年9月に条約に署名し、1994年5月に施行されました。

また、日本においては、近年、こども家庭庁の設置や、令和5年4月にはこども基本法が制定されるなど、子供に関する動きが大きくなっております。

安八町においても、昨年、こども家庭課が新設され、今年3月に第5期あんぱちっ子すくすくプラン（以後、プランと省略いたします）が策定されるなど、世の動きに合わせて施策を打ち出していることに感謝いたします。

子供の権利といいましても大変範囲が広いので、今回は子供の自主自立に向けた教育と、プランにおける基本目標1の子供の権利の尊重と子供の居場所づくりに焦点を絞って質問をいたします。

プランの基本目標1の中に、子供の人権を守る体制づくりに努め、全ての子供の健全な心身の成長、社会的自立を促進していきますとの目標設定がありました。質問1といたしまして、具体的にどのようなことをしていくのか、こども家庭課長としての見解と、教育面から見た教育長の見解を求めます。

本巢市は、令和6年度に子供の手でつくり上げる本巢市こどもの権利条例の制定に着手いたしました。これは、本巢市の教育長の発案で取り組んだと聞いております。先月、御本人から取り組んだ経緯や方法をお聞きいたしましたが、とてもすばらしい内容でした。

また、当町のプランの行動計画に子供の権利について町民の共通認識を深めるとあります。質問2といたしまして、安八町も子供の権利条例を制定してみたいかがでしょうか。

次に、子供の居場所づくりについて質問いたします。

プランの基本目標1に、子供や家族が遊び、憩える場の整備について検討を進め、安心して出かけ、利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方を基本とした整備を推進しますと記載されております。質問3といたしまして、どこにどのようなものをつくるのが子供の居場所として最適であると考えてみえるか。これは町長と記入してあると思うんですけど、教育長の見

解を求めます。

先日、かがやけ安八の代表 辻直人さんとお話しした際、中高生のボランティアクラブをつくり、そのメンバーで中学生や高校生も楽しめる子供の居場所づくりをしたいとおっしゃって見えました。内容や場所はもちろんのこと、寄附などのお金集めもそのメンバー（子供たち）で考えてつくり上げていくという企画で、これはまさに自主自立に向けた教育とも呼べる企画ではないでしょうか。

質問4といたしまして、当町のプランに掲げる子供の居場所づくりは、小学生以下の低年齢層が主体のように感じましたが、中学生以上も遊び、憩える、子供の居場所づくりについてどう考えるか、教育長の見解を求めます。

続きまして、ハラスメント条例について質問いたします。

近年、首長等や議員によるハラスメントに関する条例を制定する動きがよくニュース等でも報道されています。近隣市町においても、令和5年に本巢市、令和6年に各務原市、池田町、そして令和7年には岐南町でも制定されました。

昨年6月にハラスメントの現状について私から質問させていただきましたが、当町のハラスメントにおける報告はゼロではありませんでした。職員の働きやすい環境をつくるためにも、ハラスメントの防止には力を入れるべきだと私は考えます。

そこで、質問5といたしまして、県庁で働いた経験をお持ちの副町長に質問いたします。県内の各自治体の動向を鑑みて、当町におけるハラスメントに関する条例制定の是非について見解を求めます。

議 長 それでは、最初に田中こども家庭課長。

こども家庭課長 傍嶋議員の1つ目の質問に対して、こども家庭課としての見解を述べさせていただきます。

子供の人権を守るため、子どもの権利条約では、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利の4つが基本的柱とされています。

子供の人権を守るためには、家庭が最も重要な基盤となるものと考えています。家庭は子供が初めて社会と接する場であり、家族間の関わりを通じて社会性の基礎を学ぶ場所となります。

しかし、現在、核家族化や共働き世帯が増えたことにより、地域や保護者

自身が親などつながりが薄くなり、孤立感を深め、育児負担の増加による保護者のストレスはネグレクトや児童虐待につながりかねず、子供の健やかな成長に影響を与えかねません。

そこで、町としましては、子供の人権を守り、子供の健全育成のための家庭への支援として、認定こども園の保育料・給食費の減免、紙おむつの無償化など、家庭への経済的支援事業を実施するとともに、増加し続ける児童虐待防止対策として、妊婦相談、産後ケア事業、ゼロ歳児紙おむつ等お届け事業などを通じて、不安を抱える家庭の早期発見に努め、こども園や学校での支援につなげています。

子育て支援は、産前産後からの切れ目のない支援が必要ですが、現在、1歳、2歳の未就園の子供さんを育てている家庭との関わりが手薄となっていることが課題となっています。今後、そうした切れ目のない支援策を検討しているところです。

今後とも、教育委員会や福祉課、児童相談所等の関係機関と連携を取りながら、切れ目のない支援につなげてまいります。

議長 続いて、青山教育長、答弁をお願いします。

教育長 続いて、学校教育の観点からの見解を述べさせていただきます。

子どもの権利条約にも述べられているように、全ての子供が幸せになる権利を有しています。そのために、学校教育において人権侵害に当たるような行為を絶対に許してはいけなく考えます。特に、いじめ問題や差別で苦しむ子を出してはいけません。そのために、いじめは絶対許さないを合い言葉にして、仲間を思いやる温かな気持ちを全教育活動を通して育んでいます。

また、保護者からの虐待、仲間からの攻撃などから子供を守ることも大切にしています。学校現場においては、どんなことでも困ったことがあれば周りの仲間や大人にSOSを発信できるように、SOSの出し方教育を実施し、早期発見・早期解決につなぎ、子供たちの困り感に寄り添った教育を展開しています。

また、不登校で悩み苦しむ子供を救うために、不登校等で悩みを抱える子供たちの支援室「ほほえみ教室」を各校に設置し、全ての子供が笑顔で生活できるような支援体制をつくっています。

子供たちも、社会の中で生きる一人です。社会的自立に向け、自分の願い

や思いを堂々と表現できる子に育てていくために、様々な場において自分の思いを発信することができるように、対話のある授業づくりをしています。

また、社会の一員として地域の方と触れ合い、つながりを太くするように、コミュニティ・スクールとしての活動を地域の方の支援を受けながら実施しており、子供たちが地域から見守られ、愛されていることを実感し、やがては社会人として自立し、地域で活躍できる人材の育成を目指した教育を展開しています。

2つ目の質問、子どもの権利条例の制定についてお答えします。

現在、安八町では、あんぱちっ子すくすくプランを策定し、子供が主語となり、子供を中心に据えた施策を実施させていただいているところです。現在のところ、安八町独自の子どもの権利条例の作成は考えておりません。

ただ、小学6年生が自分たちの願いや思いを行政に届ける子ども議会や、中学生が自分たちのまちづくりに対する願いや思いを町長に届ける町長と語る会を実施し、子供の考えを行政にも届くように表現する機会を設けています。今後、子供たちや様々な立場の皆様から、子ども権利条例の制定の要望が出てきたときには、条例制定について調査研究し、考えてまいります。

3つ目と4つ目の質問は、いずれも子供の居場所づくりについてですので、併せて私からお答えいたします。

子供にとっての居場所は、様々なところにあるとよいと考えます。町としましては、町内各地区に居場所をつくっていきたいと考えています。町長から予算説明の場で報告させていただいていますように、今年度からアンヒルパーク、北部公園、ハートピア安八児童館の3か所を大規模改修に向けて検討を始めています。子供も大人も誰もが利用できる場所となるよう、青少年育成町民会議でも話題として取り上げるなどし、小・中学生をはじめ町民の皆様のご意見を取り入れながら、よりよい施設になるように努力してまいります。

そのほか、こども園では、人間形成の基礎を築く場となるように、自然を生かした園庭整備を行い、在園時間だけでなく、土日の園庭開放時には多くの方に利用していただければと思います。

中学生以上の居場所については、先ほど述べた公園やハートピア安八はもちろん、総合体育館、学校の図書館、むすぶテラスなども居場所として考え

ており、運動や学習など様々な要望に合わせて利用できるようにしています。

傍嶋議員から、かがやけ安八さんのお考えを御紹介いただきましたが、子供が自分の居場所について意見を出し合い、大人と一緒に居場所づくりを整えていくことは、子供を中心に据えたよい企画方法であり、主体的な子供の育成の点からも大事にしたいと考えています。

子供にとっての居場所は、子供たちそれぞれでも違いがあり、多種多様です。子供たちが楽しみを実感できるような活動として、例えば、地域クラブ、ジュニア文化サークル、軽スポーツ教室、夏の星まつり、図書館のしおりづくりなどを教育委員会主催で実施し、活動としての居場所の確保に努めています。

しかし、行政だけでは十分行き届かない点もあるかと思いますので、青少年育成町民会議や民間の団体とも協力して、中学生や高校生のニーズにも合わせた居場所づくりやイベント企画などについても充実させていきたいと考えております。

以上、傍嶋議員の1つ目の回答とさせていただきます。

議長 それでは、2つ目の質問に対しまして山田副町長、答弁をお願いします。

副町長 傍嶋議員の御質問、ハラスメント条例についてお答えいたします。

このような条例は、現在、全国で117団体が制定しており、県内では7市町が制定しております。働きやすい職場環境をつくる上で、ハラスメント防止は重要な要素であり、条例を制定することにより、首長以下、職員誰もがハラスメントは行わないという意識向上につながり、またハラスメントを受けた職員が条例に基づき躊躇なく通報し、対応を求めることができるという効果が期待されます。

一方で、内部ガバナンスとも言えるハラスメント対応指針というべきものを条例という形で内外に示したものであるとも言え、内容的には条例にすべき必然性は薄いのではないかと思われま。

そこで、本町における条例制定の是非についてでございますが、本町では、令和2年に安八町職員のハラスメント防止等に関する要綱を制定しております。その中で、総務課を窓口とし、相談報告体制を整え、実際に相談を受け対応いたしております。また、職員研修も実施し、意識向上を図っているところでございます。

さらに、組織的には小さく各課長など管理職の目が届きやすいこと、さらに、最近ではハラスメントに関する相談等は寄せられておらず、深刻な状況には至っていないということなどから、条例制定せずとも実質的にハラスメント防止対策を講じているものと考えております。

また、県をはじめ多くの県内市町村において、条例が制定されていないことを鑑み、本町において直ちに条例を制定する必要性は薄いものと考えます。

その上で、ハラスメント対策が滞るのは、情報が正しく責任者まで上がらず、いつまでも対応がなされないこと、あるいは管理職自身がハラスメントを行い、ハラスメントに遭ったことを相談しづらいことなどが要因でございます。

議員から県庁で働いた経験でということでもございましたので申し上げさせていただきますけれども、県では、組織が大きいがために正しく情報を把握し、早めに手を打つ、あるいは第三者的な立場の者が対応するという手段が幾つか講じられております。そこで、本町におきましても、今後、県の手法の一部を取り入れ、さらなる対策を検討してまいります。

1つ目には、ハラスメントを受けた、あるいは見聞きしたという情報を、従来の総務課への相談報告に加え、副町長である私にメール等により直接連絡できる仕組みを整えます。

2つ目として、私自身が必要に応じ直接ヒアリングを行い、その際も利害関係のない第三者的な管理職を立ち合わせるなど、迅速かつ客観的な対応を行います。

3つ目に、町長をはじめ管理職員を対象とした研修を実施し、改めてハラスメントは行わない、行わせないという強い決意を再確認し、徹底いたします。今後とも、こうした取組を通じ、ハラスメントのない働きやすい職場環境を整えてまいります。

以上、傍嶋議員の御質問に対する回答とさせていただきます。

〔4番議員挙手〕

議長 傍嶋議員。

4番 ありがとうございます。

まず、子供の権利についてお話しさせていただきます。

御存じの方も多いと思いますが、私は安八町柔道スポーツ少年団の指導を

させていただいております。高校を卒業してから指導に携わらせていただいておりますので、もう30年ほど指導をさせていただいている状況です。

最近の小・中学生は、言われたことをこなす能力は非常に高く素晴らしいんですけど、20年ほど前の子供たちと比べると、自分で考えて行動してみるといった自主性の強い子が少なく感じるのは気のせいでしょうか。子供全体の数が減ってきているので、そういった子も少なくなっているのはもちろん当然のことなんですけど、それよりもトップダウンが主体で協調性に重きを置き過ぎた教育方針や、コロナ禍でさらに加速したコミュニケーション不足というのが、そういった時代背景が大きな原因じゃないのかなと考えております。

これからさらに少子高齢化が進み、少数精鋭で生き抜いていかなければならない子供たちに、自主自立に向けた教育をしていく社会を実現していくことは、今を生きる大人たちの責任ではないでしょうか。

また、自主自立は人と人とのコミュニケーションの中で形成され、責任感を持つことで育成されると言っても過言ではないと思っております。

安芸高田市が石丸伸二市長のとき、高校に100万円を渡して生徒会長にその使い道を決めさせるという施策をしていました。とても面白い企画だなと思ったんですけど、当町において中学校で行うには少し早いような気がするなと感じておるんですが、またよくニュース等で生徒たちが校則をつくるというのを見たりします。自分たちでルールをつくるということは、自主自立、責任感ともによい勉強になるのではないかなと私は考えます。

そこで再質問1として教育長にお聞きいたします。生徒たちによる校則づくりについての見解を求めます。

続いて、ハラスメント条例についてです。

ハラスメント防止が重要であるという共通認識としては受け取れましたが、即動いていただけないという話で、ちょっととても残念なんですけど、さきにも申し上げましたが、当町のハラスメント報告はゼロではありませんでした。しかも、昨年4月には渡邊裕光議員が坂悟議員を殴るという事件まで発生しております。今の安八町には、ハラスメントに関する一定のルールが早急に必要だと私は考えています。

とはいえ、条例制定には時間がかかることは理解しています。幾ら条例を

制定したとしても、先ほど答弁であったみたいに、通報機関、ヘルプライン、ホットラインが役場内の上司では、私は被害者保護の観点に反するのではないかなと考えております。

そこで、再質問2といたしまして、町長にお聞きいたします。早急に通報機関だけでも第三者機関に設定していただけないでしょうか。

以上、2点について見解を求めます。

議長 最初に、青山教育長、答弁をお願いします。

教育長 傍嶋議員の再質問の校則の見直しについてお答えします。

学校教育においては、2年ほど前から生徒指導の方法が見直されまして、教師主導型から生徒への寄り添い型に変化してきています。

町内の中学校では、令和5年度に制服の見直しに合わせて、服装についても生徒からの意見を聞いて、教職員と生徒が話し合いを重ねてきました。その中で、女子生徒のズボンの着用や冬の寒い時期のスパッツの着用など、子供たちの願いを入れながらふさわしい校則への見直しになるように話し合いを重ねてきています。

学校生活におきましての主体は、児童や生徒です。子供たちの願いや思いを十分に聞き取ったり、自分の願いをきちんと表明できるような、そんな子供に育てることはとても大切であると思います。子供たちにも、学校では自分たちの学校は自分でつくるということを合い言葉にしています。

生徒会の学校規則をはじめ、先ほどお話があったように、自分たちが思っていることを行政にも届けることができるよということも伝えておりますので、子供の願いに沿ったそんな教育が実現でき、子供たちの笑顔が輝く安八町となるように努力してまいりたいと考えております。

以上、傍嶋議員の質問に回答させていただきます。

議長 続きまして、岡田町長。

町長 傍嶋議員からの再質問についてお答えをしますが、傍嶋議員がおっしゃるようにハラスメントにつきましては、まずは未然に防ぐ、これが私は一番大切だというふうに思っておりますが、やはり起きてしまうことも多々あるというふうには考えております。そういったときには、やはりヘルプラインというのは大切なものになってくると思いますので、そういったものを構築していくということも大事かというふうに考えます。

ただ、そういったものには少し時間もかかりますので、現在は広域で公平委員会等々も設置をされているところがございますので、そういったところも活用しながらということで体制をつくっていきたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

〔4番議員挙手〕

議長 傍嶋議員。

4番 ありがとうございます。

まず、子供の権利についてですが、自主自立の教育においても、子供の居場所づくりにおいても、1つ決まればそれでよいものではないんですよね。教育長にはぜひ今までのセオリーにとらわれず、コミュニケーションに特化した教育を安八町で進めていっていただきたいなと思います。

あと、さきにお話ししたかがやけ安八の辻さんの企画は、とても子供たちにとってよい企画だと本当に私は感じております。子供たちの手でつくり上げることをモットーとしているため、あまり手出しできないんですけど、初めの人数集めとか広報活動というのは非常に困難であるかなと感じております。

今後、かがやけ安八の辻直人さんから、もし協力の御依頼がありましたら、その企画を広報「あんぱち」に掲載したり、教育現場のほうにチラシを配布していただいたりとか、町としてもできる限りの協力をお願いしたいです。

続いて、ハラスメント条例についてです。

副町長と町長の答弁において、スピード感が感じられなかったのがとても残念です。パワハラやセクハラは、権力構成がはっきりとした少人数の組織の中こそ発生する傾向にあります。現に、議員の暴力事件もそうでした。

また、今の社会は物すごいスピードで変化しています。よいものは取り入れ、即実行していく決断力と行動力のない自治体は、住民も職員も離れていきます。町長、副町長におかれましては、スピード感のある施策実行と、これからも職員の働きやすい環境づくりに力を入れていただくことをお願いいたします。私からの一般質問を終わらせていただきます。答弁は要りません。以上です。ありがとうございました。

議長 一般質問を続けます。

7番 石原英一議員。

7 番 議長より発言のお許しをいただきましたので、私からは新規就農者の可能性を探りませんかということで質問させていただきます。

農水省の統計によれば、2000年から2023年、この約20年の間に基幹的農業従事者、いわゆる仕事として自営農業に従事している方は約240万人から約116万人と半減しました。直近5年間においても、毎年約5万人ずつ減少しています。そして、平均年齢は68.5歳、65歳以上が7割と高齢化も進行し、しかも定年延長により定年後から農業を始めるといった考え方も変化しつつあり、さらに環境は厳しくなっています。

町内で農業に携わる私自身も肌で感じ、年々農業をおやめになられる離農者からの作付依頼が増え、先月の5月時点で既に今年で離農されることを決めた方から来年の依頼も入り始めています。

当町の水田は、現在、営農や担い手組織が集約してくださっていますが、全国同様やはり平均年齢は高く、トラクターや田植機などのオペレーター不足が課題になっています。特に、平日が課題になっているとお伺いしております。

一方、米の価格が話題に上がり、新規の就農希望者が増えるのではと期待の声も上がりますが、ここにはもう一つ壁があります。これは少し古い統計ですが、総務省によれば、国の支援制度を利用して研修を受けた2014年の新規就農者の約35%、いわゆる3人に1人が翌年にはもう既に離農していました。原因としては、農業というのがスローライフというイメージを描いて就農してみたものの、肉体労働具合やお天気都合の部分で定期の休みが取りづらなど、理想と現実のギャップが大きいことのようにです。

解決策の一つには、いきなり新規就農者を求めるのではなく、田畑で作業体験をして、その後サポートも受け、専業だけではなくダブルワークも含めた多様なライフスタイルに合う農業を徐々に見つけることで、ギャップを埋められる可能性はあります。

そこで、当町の遊休農地、現在令和6年調べで1.6ヘクタール。もう少し調べると、そのうち今年度からの新規が6割以上ということは、この後もどんどん増えてくると思います。しかも、年に一度、草刈り対応のみして作付していない畑というのは、遊休農地の数字には入っていないので、それを含めるとかなりの広さになることが想像できます。

これらの遊休農地を利用して、トラクターの体験や草刈りのワークショップ、あとは来年度になると思いますが、田んぼを借り、田起こしから稲刈り、水の入りやあぜの管理などを希望者と一緒に育てる機会をつくってはいかがでしょうか。町内の担い手、ぎふアグリチャレンジセンターやJAなどの力も借り、当町に合った多様なスタイルの新規就農者の可能性を模索する取組です。担当者の見解を求めます。

議長 松岡農政課長。

農政課長 石原英一議員の御質問、新規就農者の可能性を探りませんかの質問についてお答えいたします。

議員御指摘のとおり、農業分野において担い手の高齢化、後継者不足が進展しており、5年に1度実施されております農林業センサスの結果を見ますと、安八町内の総農家数は、2015年では842戸ありましたが、2020年には678戸まで減少しております。また、基幹的農業従事者の平均年齢は、2015年に71.4歳でありましたが、2020年には72.15歳となっております。今年2月にも農林業センサスが行われましたが、農業をリタイアする方の増加や、さらなる高齢化の進展が推察されます。

実際、自分で耕作できなくなり、直接担い手の方にお問い合わせに行かれる方や、役場の窓口で耕作者を探してほしいと依頼される方が増えており、優良農地確保のため農地中間管理機構を活用して地域の担い手の方へ集積・集約し、農業を行っていただいているところであります。

しかしながら、営農組織のオペレーターを含めた担い手の方々自体の高齢化も進んでおり、将来に向けて新たなオペレーターの育成や新規就農者の確保が課題となっております。

議員御提言のとおり、いきなり専業で新規就農をするには、知識の習得、初期費用、労働力、収入の確保などをクリアしていく必要があり、ハードルが高いと感じるところであります。町内では、認定農業者の下で約3年働いた30代の方が、来年度から事業継承を受け、新規就農者として農業を営む動きがあります。

また、多様な生活形態がある現在、半農半Xと言われる農業とそれ以外の何かであるXを両立する生活も注目されております。経験を積んだ後に、ライフスタイルに合わせた就農形態を模索していく機会を提供することが必要

であると考えます。

まずは、人材の掘り起こしや育成のため、営農組織などと協力し、トラクターやコンバイン、草刈り機などの農業機械の安全講習や操作体験のワークショップを通じ、新たなオペレーターの確保や、余った時間で農業に携わる多様な就農に向けた第一歩としたいと考えます。

今年度、県と西濃地域の市町、西美濃農協が連携し、多様な担い手の育成・確保を行うことを目的とした西濃地域就農支援協議会が設立されました。関係機関とのさらなる連携を図りながら、安八町に合った就農支援を展開してまいります。

以上、石原英一議員の質問に対する回答とさせていただきます。

〔7番議員挙手〕

議長 石原議員。

7番 答弁ありがとうございました。夢のあるお話、ありがとうございます。

今年、田んぼで手伝いを始めた方の中に、うちの中で大学院生の子が入ってきました。その彼の近くのところの田んぼ、5畝ぐらいなんですけど、小さい田んぼのところを自分で田植機で少し植えてみる練習をしたら、彼がすごく興味を持って、1年間ずっとやってみたいですよということでやる子が1人いました。

そしてもう一人、30代の子は今、普通の一般企業にお勤めなんですけれども、今、自宅の前のうちの畑を自分でやり始めて3年になります。彼は最初、田んぼは絶対やらないと言っていたんですけど、今年、苗から手伝い始めました。やはり彼らのいろいろ話を聞いていると、農業というちょっと壁の高いところのイメージというよりは、今彼らの中では幸せなライフスタイルの中に農業を取り込むという考え方、自分の時間を使うのに農業というのを一つ選ぶという感覚が僕の中には今あると思います。やっぱり楽しくやっているとところには人が集まってくるのかなというのを感じております。

なので、何か安八町らしい、新しい農業スタイルというものを今後期待しておりますので、よろしく願いいたします。

これで僕の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議長 ここで暫時休憩をいたします。再開は11時10分からといたします。11時10分から再開をいたします。よろしく願いします。

(午前10時56分 休憩)

(午前11時08分 再開)

議長 続きまして、2番 渡辺康司議員。

2番 ただいま議長から発言のお許しをいただきましたので、私からは安八町総合体育館のトレーニングルーム設備と利用状況について質問させていただきます。

近年、トレーニングジムの人気が高く、数多くの店舗が増え続けています。それだけ需要があり、多くの方が健康の維持管理や体質改善、減量などに関心があるのだと思います。トレーニングジムを利用する目的は様々だと思いますが、体を動かすことによって健康に与える影響は非常に大きいと思います。

安八町においても、総合体育館内にトレーニングルームがあります。受付の方にお聞きしたところ、若い方から御年配の方まで偏りなく利用者がいるとのことでした。しかし、最近では利用者の数が少なくなっているようでした。コロナ前には1日30名前後の利用者があったのが、今では約3分の1の10名いるかないかにまで減っているようです。どうして減ってしまっているのか。その理由の一つに、トレーニング器具が古くなっていることも影響していると思います。

トレーニングマシンの耐用年数は、一般的には5年から10年と考えられています。利用年数に影響を与える要因としては、使用頻度や定期的なメンテナンスを行うことで伸ばすことができます。安八町のトレーニングマシンは、導入から何年たっているのでしょうか。また、メンテナンスはどのように行っていますか。

安八町のトレーニングマシンは、クッション部分の劣化がひどく、場合によってははげがをする可能性もあると思います。以前のように町民の皆様によく利用していただけるように、トレーニング器具の入替えをし、安全面においても安心して利用できるようなトレーニングルームの整備をする必要があります。

トレーニングルームの利用料においても、近隣市町村と比べて安価で利用しやすい環境になっていると思います。安八町民の方々がもっと健康と体づくりのために積極的に利用できるようなトレーニングルームへの整備をして

はいかがでしょうか。御担当の方の回答を求めます。

議長 梅村教育課長兼ハートピア安八館長。

教育課長兼ハートピア安八館長 渡辺康司議員の御質問、総合体育館のトレーニングルーム設備と利用状況は、についてお答えいたします。

トレーニングルームに設置されています機器のうち、ショルダープレスやレッグプレス等の一体化のものにつきましては、総合体育館が開館した平成2年当初から更新をされておられません。また、2台設置されているランニングマシンは、平成30年に交換し、約7年が経過し、スイッチ類等の接触不良が発生している状況です。4台設置されているコードレスバイクのうち1台は、令和4年3月に指定寄附金により購入しておりますが、残りの3台は設置から20年以上経過をしています。

機器のメンテナンスにつきましては、総合体育館の休館日の毎週月曜日に職員による目視点検を実施し、年1回専門業者による定期点検を行い、不良箇所があれば補修作業を実施しておりますが、近年では機器が古く、部品交換が困難な場合も出てきております。

利用人数につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行前、平成30年度が延べ5,446人、1日当たりの平均17.2人でありましたものが、昨年令和6年度が延べ4,553人、1日当たりの平均利用人数14.4人となりました。町内の方が1回110円、町外の方が1回330円の利用料金のため、一定の利用があるものの、議員御指摘のとおり減少している状況であります。

利用者の減少として考えられますのは、トレーニング機器の老朽化や種類の少なさのほか、隣接する大垣市等における民間企業が運営するトレーニングジムの影響もあるのではないかと推察いたします。本格的なスポーツジムから買物のついでに短時間気楽に利用できるジムまで、多種多様な施設が増加しております。こうした施設には指導者トレーナーが配置されており、機器の適切かつ安全に使用するための指導や、各個人に合わせたトレーニング計画などが立てられ、利用者サービスが充実しております。公的施設である隣接する大垣市武道館に併設されているトレーニングセンターにも同様に、トレーナーが設置をされております。

議員御提案の町民が健康と体づくりに積極的に利用できるトレーニングルームの整備につきましては、機器の更新やトレーナーの配置などが不可欠で

あるとは考えますが、今後の利用状況の推移や費用対効果の分析、適切な利用料金の設定、民間施設を含めた役割の分担など、総合的な検討が必要と考えます。

今年度、総合体育館を含む総合運動公園一帯の在り方について見直しを図る中で、トレーニングルームにつきましても検討してまいりたいと考えております。

以上、渡辺康司議員の質問に対する回答とさせていただきます。

〔2番議員挙手〕

議長 渡辺議員。

2番 答弁ありがとうございました。

私もトレーニングジムが近隣市町にもよくありまして、営業時間の問題だとか、またトレーニング機器の充実等々がありまして、やはりそちらに利用される方が偏っているなというのは感じています。

ただ、安八町のトレーニングマシンにおいても、やはり今お話にありました平成2年当初から設置されたもの等々、ちょっと年数が経過しているものもあり、体を動かすためにトレーニングをして、やはりけがにつながるようなことがあってはいけないと思いますので、そういった部分を、今後、運動公園等と一緒に考えてくださるというようなこともお聞きしましたので、またその辺りもしっかりとやっていただけたら、やっぱり安八町の皆さんが体を動かすためのトレーニングルームということで、しっかり使っていただけるのかなというふうに感じます。ありがとうございました。

私からは以上です。

議長 5番 坂悟議員。

5番 ただいま議長より発言の許可を得ましたので、私からは安八町人口ビジョンについてということで一般質問をさせていただきます。

総務省の統計局の公表では、日本の人口は2025年5月1日現在、1億2,380万人、2015年から約800万人減少しています。残念ながら、2030年の推定人口は1億1,662万人と、さらに減少が見込まれます。

そのため、国では労働者不足を補うため、外国人を技能実習生として受け入れております。統計を取り出して年々増加して、現在230万人を超えているという話です。社会保険等の加入義務化、並びに在留資格が3か月以上を

超えて滞在予定者は、国民健康保険に加入することができると言われております。

当町では、昨年2024年4月より第六次総合計画（R 6 からR13）がスタートしました。最新の2025年4月発行の広報「あんぱち」では、現在人口は1万4,438人です。2015年対比では、314人の減少にとどまっています。安八町第六次総合計画の基本構想の人口ビジョンの中でも、対策を講せず何もしないAパターンの場合には1万3,523人から見て915人多い。いろいろな対策が、施策の成果が出て、一番発揮したB 5パターンで1万4,047人、それに比べても391人多い実績になっております。

これは、皆様にお配りしたお手元にあるグラフ等を見ていただくと、顕著な数字として出ていると思います。各年代層については、想定どおりの数字が出ているかというのはよく分からないんですが、実績として一番いいパターンより391人多い。

それで、どの層が実際上振れして多いのか、例えば外国人の増加が予想以上なのか、または高齢者の割合が増加したのか、健康寿命が延びて、または希望している出生率向上が行われて子供が予想以上に多いのか、それと安八町への転入が転出見込みより増えたのか。いずれにせよ、各施策が成果を発揮した結果だと私は推定します。

これから安八町はスマートインター工業団地の企業誘致などが決まり、日中流入人口の増加が予想されますので、質問をさせていただきます。

質問として、基本人口の将来の人口ビジョンの中で、人口分布で想定したB 5パターンに対して、どれだけどこに異差があるのか御回答ください。

2番目、移住補助金など拡充されていると思いますが、人口減少阻止に効果が上がっている施策を御回答ください。以上です。

議長 大平まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 坂悟議員の御質問、人口ビジョンについてお答えさせていただきます。

1点目、想定された将来人口推計と現状の人口とどこに差異があるかについてお答えさせていただきます。

議員御指摘のとおり、第六次総合計画に記載の将来人口推計と現在の安八町の人口と比較しますと、推計しておりました人口より上振れした状況にあ

ります。この将来人口推計は、外国人の比率を2020年時点と同様の比率2.25%としております。また、転入・転出者は転入出プラス・マイナス・ゼロの同数で推定したものでございます。

現時点で人口推計より上振れしている主な要因としましては、外国人の増加と転入者が転出者を上回る転入超過、いわゆる社会増の状況にあると分析をしております。

外国人については、5年前と比較し300人以上増加しており、計21か国、632人の外国人の方が安八町で生活してみえます。また、転入超過、社会増の状況はここ3年続いており、昨年1年間では転入者が転出者を132人上回る状況となっております。出生数につきましては、予測では64人でしたが、実際は68人で4人増加しております。

これらを踏まえまして、将来人口推計と現在の人口を比較した中で上振れしている要因と考えております。

2点目、人口減少阻止に効果が上がっている政策についてお答えをさせていただきます。

安八町では、移住支援と定住人口の増加を図るため、町内に住宅を取得された方への助成や、県外から安八町へ移住された方への助成を行っております。町内に住宅を取得された際の住宅取得助成金制度は、この3年間で74件の利用があり、175の方が安八町へ転入されています。人口減少阻止に一定の効果があったものと考えております。また、住宅取得助成金制度につきましては、昨年度より予算を倍増し、移住増加に努めております。

さらに、企業誘致につきましては、平成19年からの工場等設置奨励金を活用しての企業数は16社あり、約1,000人以上の従業員の方々が雇用されております。これらも少しずつではありますが、人口減少阻止への効果が出始めていると考えております。

そのほか、子育てへの支援制度も拡充しており、妊娠・出産時の給付金に加え、紙おむつ、粉ミルクお届け事業、給食費の一部助成、高校生世代までの医療費の無償化など、子育て世代には移住定住しやすい環境も整えております。

出生数の減少により、将来的には人口減少を避けることは難しい問題ではありますが、移住への支援、子育てへの支援に加え、さらなるスマートイン

ターチェンジ周辺等への企業誘致や町のPRと融合させ、交流人口、関係人口を増加させ、持続可能なまちへとつなげてまいりたいと考えております。

以上、坂悟議員の御質問に対する回答とさせていただきます。

〔5番議員挙手〕

議長 坂議員。

5番 大平課長、御回答ありがとうございました。

今のお話ですと、外国籍の方が、当初予想していた316人から632人とほぼ倍増しておりますので、まず1点目の最初の質問という意味で、その外国人の方に対する関係の質問をさせていただきます。

世間では多文化共生の観点からということで、いろんな施策がされております。当町として、これだけ思わぬ形で外国人が増えてきている。国の施策もあって、新しい労働者が外国からの供給に頼っているという状況を考えて、大きな町では国際交流センター、外国人との交流の場を持つというようなことを盛んにやられております。

当町でも、移住者の外国人の方と町民が交流するような場をつくるようなお考えはまずありますかという点と、ちょっと気になるところで、国の調査では外国人の国民健康保険の収納率が約63%程度だというふうに伺っております。

安八町においては、よく数字が分からないんですけど、実際、今、安八町に国民健康保険に加入されている外国人の数がもし分かれば、担当課、生活環境課のほうで分かれば人数を教えてください。以上です。

議長 大平まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 坂悟議員の再質問につきまして、1点目の回答をさせていただきます。

外国人の方との交流をする予定がありますかという御質問であったと思います。こちらに関しましては、今後、外国人御本人、また外国人を雇っている企業様やアパートのオーナーさんなど、そのような御要望があれば、そのとき適宜対応をさせていただきたいと考えております。以上でございます。

議長 定益課長。

生活環境課長 ただいまの坂議員の再質問にお答えさせていただきます。

安八町国民健康保険の外国人の加入者数は98人です。以上でございます。

〔5番議員挙手〕

議長 坂議員。

5番 心配していた国民健康保険の加入者が100名弱ということで、安八町国民健康保険2,500人程度なので、その割合から見ると適正な範囲内なのかなということで、御回答ありがとうございます。

それと、大平課長のほうからそういう御要望があれば適宜対応していただけるということで、これもぜひとも安八町のことをよく知ってもらうためにも、そういうのを活用していただきたいと思います。

2点目の質問になるかと思うんですけど、安八町スマートインター工業団地などが積極的にやられて、企業誘致が実り、これから特に活気に満ちあふれた町に変貌を遂げようとしています。安八町への移住者は、今御説明があったとおり、もともと2025年は転入転出でプラマイゼロでほとんど変わらないというのが、132人と大きく予想を超えております。

それに対して、説明があったとおり、いろいろな施策を打っていただいて、これが成果として、実績として上がっております。しかし、今後、特に誘致されると、その操業に合わせて安八町周りに人口は増えてくると思います。当然、移住希望者も増加が予想されます。これは四十数年前、もう撤退した企業が操業して、そこに住んでいる従業員の方が住むところを求めているいろいろ安八町で探したんですけど、なかなかいいところが見つからなくて、大垣市とか羽島市とか、そういうところで住居を構えられた方が7割から8割なんですね。そういうことを過去に経験しておりますので、これから移住を考えている方に安八町を選んでもらえるような、もし新しいプランがありましたら、ぜひとも御回答をお願いしたいと思うんですけど、どうですか。

議長 町長。

町長 坂議員の再質問でございますけれども、おっしゃられるとおり、企業が増えてきて、人口は必ずこの後大きく変化をしていくというふうに思っています。

まだまだ役場周辺ないし町内を見ても、住宅の供給というのはどんどん今進んでいる状況でございます。不動産業者等々に確認をしてみても、そういったところら辺も見越して今動いているということでございますので、そういった居住に対する対応については、しっかりと施策等もやっていき

いなというふうに思っているところでございます。

また、話はちょっと違いますけど、やはりどこへ行っても渋滞等々の御質問も出てきます。そういったところら辺も、企業さんの御意見等々を聞きながら、県当局、そして国にもいろいろ働きかけながら、できるだけ渋滞を緩和できるような施策を打っていきたいなというふうに思っています。

いずれにしましても、これから先、7年、8年後には税収もだんだん増加をしていくという中で、今進めています大きな公園の改修とか、子供たちの居場所づくりとか、また先ほど言われました国際交流センターなんていうのも一つの柱になってくるかなというふうに思っておりますが、いずれにしましても、国際交流センターに対しましては、運営する側の模索というのも大事になってくると思いますので、NPO法人の発掘、そういったところら辺もいろいろ考えながら、今後準備期間と言われるこの期間にいろいろ探っていきたいなと思っておりますので、また議員各位におかれましても、いろいろなお知恵を借りたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

〔5番議員挙手〕

議長 坂議員。

5番 町長、御回答ありがとうございます。

最後なので、要望を少し述べさせていただきます。

安八町は、今後大垣江南線が開通して、当然安八町への流入人口の入り方も変わってくると思います、周りの市町村から。いいほうに解釈して、現状の市街化区域の開発がここ数年ぐらいで終わってしまって、目ぼしい用地がなくなって、そういうことが非常に考えられます。次の広域の都市計画の見直しとか、いろいろ令和12年頃だったと思いますが、あると思っております。

そのときに、やっぱり説得力のあるプランを示していただいて、ぜひとも第六次総合計画の人口ビジョンが、先ほど大平課長が言われましたように、さらに上振れして、安八町のライフラインが人口減少によって維持が難しくならないように、できれば現状維持プラスアルファを期待して、私の一般質問は終わります。

以上です。ありがとうございました。

議長 1番 栗原宏行議員。

1 番 ただいま議長から質問の許可をいただきましたので、私のほうからは2点、地域計画、食育教育について、2点質問させていただきます。

まず、地域計画について。

東海地域も梅雨入りし、町内の水田も順調に令和7年産の田植が進んでいると思います。令和の米騒動のさなか、例年以上に管理に力が入っていることと思います。五穀豊穰、豊年満作を願うのは常ですが、再生産価格を割らないよう対策が必要かと考えます。1993年、平成の米騒動の経験も生かされず、農業者の高齢化と減少の一途です。以前も質問しましたが、食と地域を守る産業です。若い方に選んでいただけるような取組を進めていきたいと思っています。

前置きが長くなりましたが、令和7年3月末に策定されました地域計画について質問をします。

以前は、人・農地プランの中で担い手を確保してきましたが、今回の地域計画から漏れている担い手や、また小規模ですが、若い人の相談を受けました。人・農地プランとの大きな違いは。また、メリット・デメリットはありますか。

現在、集積率が41.2%で、10年後の目標を80と伺っております。数値目標達成が目的ではないと思いますが、畑地を含む受け手のない白地が発生する可能性があります。

地域まるっと中間管理方式となる方法が全国的に広がりつつあると聞いています。受け手のない農地を減らすことや、希望をすれば誰でも営農ができる、辞めるときは元請組織に返却するだけと、このような制度で取り組まれていると聞いております。一度調べてみていただけたらと思います。

2番目、食育教育について。

さきにも触れました令和の米騒動ですが、昨年辺りから米の品薄感が広がり、学校給食やふるさと納税の返礼用米の確保について、総務産建委員会でも質疑があったと思います。まさか国政を揺るがすほどの騒動になるとは思っていませんでした。いかに主食である米が我々国民にとって重要であるか、再認識されたところ です。

また、米騒動の背景に、エンゲル係数が2024年に1980年以来43年ぶりの高水準で、食料品の高騰が家計を圧迫、とりわけ米や野菜などの農畜産物の高

騰が大きな要因になっています。

今年はいくくも食育基本法が公布され、6月で20年目の節目です。令和の米騒動は、食と農業を考える絶好の機会と考えます。

そこで教育長に伺います。食に大変関心が高い状況ですが、新たな取組は必要ないでしょうか。特に、地産地消の体験学習は重要と考えます。栽培や収穫作業、また調理に関わるだけでも食の理解が進むと思います。特に、食べることで、給食を通して地産地消を学ぶことは多いと考えられます。将来の生産者や消費者になる子供たちの食育は重要と考えますが、所見を伺います。よろしく申し上げます。

議長 最初に、松岡農政課長。

農政課長 栗原宏行議員の1点目の御質問、地域計画についての質問にお答えいたします。

地域計画とは、農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、農地の集積目標を記した人・農地プランを基として、分散した耕作地を集約すべく、誰がどこを耕作するのかを表示した目標地図を含めて整備したものであり、昨年度策定いたしました。

この地域計画は将来目標であり、担い手の方への権利移動をすぐに行うというものではありません。現在、農業を行っている方が困難になった場合に、位置づけた担い手と優先的に協議することとしているもので、可能な限り引き続き営農活動を行っていただきたいと思っております。また、農業環境が刻々と変化中、毎年計画を見直すこととなっており、経営面積を増やしたい、多様なライフスタイルに合わせた新たな担い手になりたいとお考えの方にも、柔軟な対応が可能なものであります。

地域計画におけるメリットは、主に3つあります。

1つ目は、今後の利用状況を明確にできること。

2つ目に、担い手の農地集約の指針として、将来計画を立てやすいこと。

3つ目に、地域計画の策定を要件とした各種補助事業を活用できることであります。

デメリットとしましては、農地の権利移動などの際に手続に時間を要することがあります。また、あくまで計画であるため、経済状況や担い手の事情により計画どおり実行されない場合があるということでもあります。

策定の段階におきましては、営農組織や認定農業者など、人・農地プランに記載がある地域の担い手の中で、10年後も耕作が可能であると思われる方を中心に、農業委員・農地利用最適化推進委員、JAなど関係機関とともに話し合いを行い、農地の集約化や基盤整備の必要性を協議し、町内全体を16の地域に分け、担い手を位置づけたところであります。

16地域のうち10の地域は、営農組織や認定農業者などが既に集積を進めており、その担い手に集約していくことでまとまりましたが、中心的担い手が見つかっていない地域が6地域ございます。そうした地域は、担い手を作り出す、新規就農や地域外から担い手を呼び込むなど、今後検討することとなっております。中でも、議員御指摘のように、畑につきましては一部担い手が借り受けておりますが、地域計画においては担い手の位置づけができていないのが現状であります。

集落等の地域内の全農地を中間管理機構へ貸し出し、担い手組織等に集約しながら、自作希望の方にはその方にもまとまった形で貸し付ける地域まると中間管理方式を導入された地域もございますが、受皿であります一般社団法人の設立、不在地主を含めた土地所有者と農業者、地域全体での合意形成など、難しい課題があります。まずは、当町に合った導入事例を見つけ、調査研究を進めてまいります。

以上、栗原宏行議員の1つ目の質問に対する回答とさせていただきます。

議長 青山教育長、答弁をお願いします。

教育長 栗原議員の2つ目の食育についてお答えします。

米の価格が高騰し、消費者に米が十分行き渡らないことが大きな社会問題となっており、米のありがたさや食育の大切さをより痛感させられます。

食育は、2005年に食育基本法が定められた頃から教育現場で実施しています。安八町では、食に関する7つの視点から食育指導計画を作成し、小学校1年生から中学生まで発達段階に応じて継続的に指導しています。

米に関してお話ししますと、安八町では牧地区でとれたハツシモを給食センターで炊飯して提供しています。ハツシモのおいしさは子供たちも実感しており、中学校では給食時に御飯が足りないときがあるため、最近では量を増やして出しています。小学校では、5年生で稲作体験も実施しており、地元の皆さんが苦勞して育てられていらっしゃることに、お米をいただけること

に感謝の気持ちを持って食べています。

さらに、ほかの栽培体験活動としましては、2年生の生活科の授業として、自分の育てたい野菜を選び、苗から世話をして育て、野菜を育てる楽しさや収穫の喜びを体験できる学習をしています。また、小学校3年生では、大豆の栽培から収穫、そして収穫した大豆を使って豆腐作りを体験する出前授業も実施しています。自分たちで育てた大豆の味は、市販の品に比べると虫に食われたりということはあるのですが、甘みがあり、おいしさが違うことを子供たちも実感しており、栽培活動を取り入れた食育は、学校現場でも以前から取り組んでおります。

最後に、地産地消の取組について説明します。

安八町では、米は当然ですが、町内でとれた野菜も給食で使用しています。食材に安八町産の野菜を使っているときには、給食の献立表に子供にもよく分かるように地産地消大根キャラクターで表示をしています。また、給食時には、昼の放送を使って地産地消の取組を知らせたり、残さずに食べることを啓発したりするなどしています。

さらに、町内の野菜生産者の方を学校に招いて、生産の苦労や農業のやりがいなどのお話を聞くことで、地元愛・ふるさと愛を高めるように指導しています。米不足の現在、食の大切さや食のありがたさを実感できるように、今後も栄養教諭を中心として家庭との連携を図りながら、食に関する指導を充実させていきたいと考えています。

以上、栗原議員の2つ目の質問に対する回答とさせていただきます。

〔1番議員挙手〕

議長 栗原議員。

1番 大変御丁寧な御説明をいただきまして、ありがとうございます。

ちょっと確認で二、三点お聞きしたいと思います。

まず1番目の質問で、現に農業者が高齢化に伴い農地の保全、また受け手の不足が大変深刻になりつつある現在、水田は説明のあったとおり、水田中間管理機構を通して担い手や営農組織に向けていただけるということで助かっておりますけど、畑地においてはなかなか受け手がないようで、大変苦慮していると思います。高齢化ということで、なかなか若い方に相続という段においても、負の財産というふうに言われる昨今であります。どうか何か

しらの対策、ひな形をつくっていただけないか、再度御質問します。

2点目、食育についてですけど、今ほどいろいろな各学年、年齢に応じて、それぞれ取組がなされているということで、大変感心したところです。

そこで、ちょっとお聞きするんですけど、給食に使われる食材の自給割合、またその中で大きな品目というのは何かありますでしょうか。安八町の特産と言われるようなものの取扱いはありますでしょうか。よろしくお願ひします。

議 長 最初に、松岡課長。

農政課長 それでは、栗原議員の1点目の質問でございます畑の管理につきましては、議員御指摘のとおり、水田におきましては担い手さん等に何とかやっけていただいているという現状でございます。畑につきましては、手間や時間が必要で、なかなか担い手さんがいないというのも現状でございます。

現在、農協さんと協議をしながら、ある地域の畑についてどうしていこうということで、今後協議をする場を設けたいというお話も伺っております。畑につきましては、そういった関係機関とも連携をしながら、よりよい環境づくりにも努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き検討してまいります。

議 長 青山教育長。

教育長 栗原議員の再質問についてお答えさせていただきます。

食材の自給割合につきましては、葉物の野菜を主に提供しており、割合としましてはそれほど高いものではないと思いますが、正確な数値は、ここでは今持っておりませんので、また後日回答させていただきます。

現在使っております野菜につきましては、夏になりましたので、ネギ、ナス、大根などを提供しております。冬場になりますと、大根やホウレンソウなどの葉物を主に新鮮なものという形で利用させてもらっています。新たにシイタケ栽培の方とも提携を結びまして、シイタケについても生シイタケを利用できるようにしております。以上でございます。

〔1番議員挙手〕

議 長 栗原議員。

1 番 ありがとうございます。

畑も含め、今の地産地消ですけど、農地の有効利用につながっていくと思

いますので、ぜひ学校給食における地産地消を進めていただき、地域の農地の保全につなげるよう働きかけをお願いします。

また、今後、給食費等について無償化という方向が進んでいくのかなというふうに感じておるんですけど、食と農業が乖離することなく、食育によって農業の持つ多様性を理解していただき、将来の消費者であり、また農業後継者でもある農業者の育成につながるかと思いますので、併せてよろしくをお願いします。

以上です。ありがとうございました。

議長 これにて一般質問を終わります。

議長 日程第3、特別委員会報告を行います。

本定例会の休会中に議会改革特別委員会が開催されましたので、報告を求めます。

議会改革特別委員長 傍嶋議員。

4 番 議会改革特別委員会の報告をいたします。

本委員会における事件は、次のとおり決定いたしましたので、会議規則第77条の規定により報告します。

記といたしまして、日時、令和7年6月10日火曜日、午前11時30分から。

出席者、委員全員、議会事務局長。

事件及び審査の報告、令和7年度議会報告会についての報告を行いました。

開催日時、5月28日水曜日、午後1時30分より。開催場所、登龍中学校洗心室。参加者、登龍中学校2年生81名。報告内容、安八町議会の概要と議会の活動報告です。

本委員会では、来年度以降も議会報告会を続けていくために、開催方法等を今後も検討していくこととしました。

少数意見留保の有無はありません。

その他、特別ありません。

以上、報告を終わります。

議長 以上で特別委員会の報告を終わります。

議長 日程第4、常任委員会報告を行います。

日程第5、議第43号から日程第11、議第49号までは、各委員会に付託し、それぞれ審査されましたので、両委員長より報告を求めます。

民生文教常任委員長 西松議員。

3 番 民生文教常任委員会の報告を行います。

本委員会における事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記といたしまして、日時、令和7年6月12日木曜日、午後1時30分から。

出席者、委員全員、関係執行部全員出席。

付託事件及び審査の結果、議第44号 安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について、議第45号 安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定については、審査の結果、全員一致で原案どおり承認いたしました。

議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第1号）は、当委員会の関係分を審査の結果、全て全員一致で原案どおり承認いたしました。

議第48号 令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算（第1号）は、審査の結果、全員一致で原案どおり承認いたしました。

少数意見留保の有無はございません。

その他といたしまして、委員会現地視察は、海津市からデマンド交通の運行を委託しているスイトトラベル海津営業所のコールセンターを視察いたしました。

以上で報告を終わります。

議長 総務産建常任委員長 坂議員。

5 番 令和7年6月19日、安八町議会議長 岩田讓治様。総務産建常任委員会委員長 坂悟。

本委員会における事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記1. 日時、令和7年6月13日金曜日、午後1時30分から。

出席者、委員全員、関係執行部全員出席。

付託事件及び審査の結果、議第43号 安八町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定について、議第46号 安

八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定については、審査の結果、全員一致で原案どおり承認いたしました。

議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第1号）のうち、当委員会の関係分を審査した結果、全員一致で原案どおり承認しました。

議第49号 町道路線の廃止については、審査の結果、全員一致で原案どおり承認しました。

少数意見の留保はありませんでした。

その他、委員会現地視察は、牧ほ場整備工事個所、UI安八ロジスティクスセンター第1期新築工事個所を視察し、担当者から説明を受けました。

以上です。報告を終わります。

議長 以上で常任委員会報告を終わります。

議長 日程第5、議第43号 安八町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第43号は原案どおり可決いたしました。

議長 日程第6、議第44号 安八町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第44号は原案どおり可決いたしました。

た。

議 長 日程第7、議第45号 安八町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第45号は原案どおり可決いたしました。

議 長 日程第8、議第46号 安八町都市公園の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第46号は原案どおり可決いたしました。

議 長 日程第9、議第47号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第47号は原案どおり可決いたしました。

議 長 日程第10、議第48号 令和7年度安八郡安八町土地取得特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第48号は原案どおり可決いたしました。

議 長 日程第11、議第49号 町道路線の廃止についてを議題といたします。

本件について討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第49号は原案どおり可決いたしました。

議 長 日程第12、報第2号 令和6年度安八郡安八町土地開発公社決算報告についてを議題といたします。

報告を求めます。

大平まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長 報第2号につきまして御説明させていただきます。

報第2号 令和6年度安八郡安八町土地開発公社決算報告について。

令和6年度安八郡安八町土地開発公社決算について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、別冊のとおり報告するものとする。

令和7年6月20日提出、安八郡安八町長。

お手元の安八町土地開発公社決算報告書を御覧願います。

1 ページをお願いいたします。

総括事項でございます。安八スマートインターチェンジ工業団地造成事業を推進するとともに保有する土地の売却に努めてまいりました。

続きまして、理事会では、議決事項でございます8議案を御審議いただき、全て議決承認をいただいております。

決算につきましては、5月20日、監事会におきまして、山中美恵子監事、岩田譲治監事の御両名より監査を行っていただき、また6月10日には公社理事会におきまして承認をいただいております。

1枚はねていただきまして、2ページをお願いいたします。

こちらにつきましては、理事及び監事の就任の状況でございます。

3ページをお願いいたします。

事業貸借対照表でございます。単位は円です。

資産の関係でございます。

1の流動資産、2の固定資産、長期性預金及び長期事業未収金でございますが、合わせまして資産合計は47億2,437万2,739円でございます。

資産の部のうち、流動資産の(1)現金及び預金3億4,161万7,003円は預金残額でございます。スマートインターチェンジ工業団地造成事業に係る事業資金の借入れによるものでございます。(6)開発中土地、決算額38億7,916万4,074円につきましては、安八スマートインターチェンジ工業団地事業に係るものを資産合計したもので、事業用地として取得したものでございます。

続きまして、負債の関係でございます。

1の流動負債、前受金、短期借入金、2の固定負債、長期借入金でございます。負債合計は52億1,700万円となっております。

負債の部の1. 流動負債、(2)前受金、(3)短期借入金、決算額16億7,700万円につきましては、スマートインターチェンジ工業団地造成事業以外の事業に係る費用の借入れを行ったものでございます。

2. 固定負債、(1)長期借入金決算額35億4,000万円につきましては、スマートインターチェンジ工業団地造成事業に係る費用の借入れを行ったものでございます。

続きまして、資本の関係でございます。

1の資本金につきましては500万円、2は欠損金でございます。4億9,762万7,261円でございます。合わせまして、資本合計はマイナスの4億9,262万7,261円となっております。負債資本合計といたしましては、47億2,437万2,739円でございます。

1枚はねいただきまして、4ページをお願いいたします。

事業損益計算書でございます。単位は円です。

1の事業収益1,866万6,746円、2の事業原価はございません。事業総利益といたしましては、1,866万6,746円でございます。

3の販売費及び一般管理費でございます。合計で196万8,597円、事業利益は1,669万8,149円でございます。

4の事業外収益の合計は、561万7,411円となっております。

5の事業外費用は、支払利息で171万9,249円、差し引きいたしまして経常利益2,059万6,311円となっております。

6の特別損失はございません。

当期純利益は2,059万6,311円となり、前期繰越欠損金5億1,822万3,572円、欠損金合計4億9,762万7,261円となっております。

次に、5ページをお願いいたします。単位は円でございます。

キャッシュフロー計算書でございます。1年間の現金の動きを表すものでございます。1の事業活動によるものでは、土地の移動等に伴う土地の売買、支払利息などで、合わせましてマイナスの1億1,975万5,166円、3の財務活動につきましては、期末残高といたしましてマイナスの10億1,200万円となっております。

期首残高に増減額を加え、最下段6で、期末の現金残高は3億4,161万7,003円となっております。

6ページ財産目録、7ページ欠損金処理計算書は、3ページ貸借対照表と4ページ損益計算書の内容をまとめたものでございますので、省略をさせていただきます。

8ページ、9ページは、土地の移動明細でございます。

9ページの(4)開発中土地は、スマートインターチェンジ工業団地造成事業の用地を取得したため増加しております。

10ページをお願いいたします。

当期中に公社保有土地活用事業により特定土地化し、売却した土地はございません。

続きまして、11ページは、年度末の保有土地の明細でございます。

12ページから17ページまでは、スマートインターチェンジ工業団地造成事業に係る土地で、合計384筆取得をしました。保有土地の総合計は417筆、26万2,283.21平方メートルを保有しております。末尾に地図でそれぞれの位置も示させていただいております。

最後に、18ページをお願いいたします。

借入金及び償還状況でございます。

1の短期借入金の借入先、上段は一般の事業費、前期に借り入れた10億3,200万円を償還し、新たに西美濃農業協同組合から10億2,000万円を借り入れました。借入率は0.835%となっております。

次に、スマートインターチェンジ工業団地造成事業に係る2.長期借入金の借入先として、前期に大垣共立銀行ほか3行から45億4,000万円を借り入れました。当期に10億円を償還しましたので、35億4,000万円の借入れ状況となっております。

借入利率は全行同一で、変動利率の全国銀行協会日本円TIBORに固定金利の0.35%を加えた利率で借り入れてございます。

以上、令和6年度安八町土地開発公社の決算報告とさせていただきます。よろしく願いをいたします。

議長 本件について質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑を打ち切り、報第2号 令和6年度安八郡安八町土地開発公社決算報告についてを終わります。

町長より発言の申出がありますので、これを許します。

町長。

町長 発言の前に、職員が今日は傍聴に来ておりますので、休憩に入っておりますので、職員の方は休憩に入ってください。結構でございます。よろしくお願い致します。

申し訳ございません。ここで追加議案を上程し、御審議を賜りたいという

ふうに思います。

追加日程としまして、安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について、並びに令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）につきまして提案させていただきたいと思えます。

このたび、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、報酬等の経費の交付基準が改正されたことによる所要の改正、また物価高騰重点支援地方創生臨時交付金の追加交付、企業版ふるさと納税寄附金の受入れ、コミュニティバスの修繕費の補正を行うものです。

提案説明につきましては、担当課長より説明させていただきますので、適切なる御議決を賜りますようお願い申し上げます。

議長 お諮りいたします。

ただいま町長より、安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について、並びに令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）が提出されました。これを日程に追加し、議題にしたいと思えますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第50号 安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について、並びに議第51号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

事務局より議案書を配付させます。

〔議案書配付〕

議長 追加日程第1、議第50号 安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定を議題といたします。

提案説明を求めます。

河合総務課長。

総務課長 ただいま配付をいたしました議案書の1ページをお願いいたします。

議第50号につきまして御説明申し上げます。

議第50号 安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について。

安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和7年6月20日提出、安八郡安八町長。

提案説明といたしまして、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第50号）の施行に伴い、本条例の一部を改正するものでございます。

1枚はねていただきまして、3ページをお願いいたします。

安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。

安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和44年安八町条例第4号）の一部を次のように改正する。

以下は改正本文でございます。

改正内容につきましては、別冊の議案資料で御説明申し上げます。

表紙を開けていただきまして、1ページを御覧いただきたいと存じます。

安八町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例新旧対照表でございます。

左の列が改正前、右の列が改正後となります。

今回の改正は、別表（第2条関係）中、選挙の投開票に携わる職務の報酬額が、最近における物価の変動等を考慮し、上位法が改正されたことから、本条例を一部改正するもので、投票所の投票管理者日額1万2,800円を1万4,500円に1,700円の増額。

続きまして、投票所の投票立会人日額1万900円を1万2,400円に、1,500円の増額。以下9つの職務も1,200円から1,500円の増額がなされるもので、令和元年6月以来6年ぶりの改定となります。

議案書へお戻りいただきまして、3ページの最下部をお願いいたします。

附則でございます。

この条例は、公布の日から施行する。

7月20日執行予定の参議院議員通常選挙より適用されます。

以上、御審議いただきますようお願いをいたします。

議 長 本件について質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議 長 質疑を打ち切り、討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議 長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長 異議なしと認めます。したがって、議第50号は原案どおり可決いたしました。

議 長 続いて、追加日程第2、議第51号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提案説明を求めます。

河合総務課長。

総務課長 続きまして、議案書の5ページをお願いいたします。

議案第51号につきまして御説明申し上げます。

議第51号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）。

令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,858万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ72億4,609万1,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和7年6月20日提出、安八郡安八町長。

1枚はねていただきまして、7ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正。以下の表、単位は1,000円でございます。

7ページの上段が歳入、下段が歳出でございます。

いずれも補正前の額72億2,750万8,000円にそれぞれ1,858万3,000円を追加し、72億4,609万1,000円とするものでございます。

裏面の8ページをお願いいたします。

2の歳入でございます。

特定財源につきましては、歳出で御説明申し上げます。

最下段の款、繰入金、項、基金繰入金、目、財政調整基金繰入金、補正額222万円、こちらにつきましては今回の補正による財源調整のため、基金から繰入れを行うものでございます。

9ページの中段をお願いいたします。

3の歳出でございます。

総務課分について御説明申し上げます。

款、総務費、項、総務管理費、目、一般管理費、補正額1,723万円。財源内訳、特定財源、国県支出金のうち国庫支出金638万円は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、その他、諸収入885万円は、ごみ袋の販売代金でございます。

当課に関する補正予算として、説明欄に記載の生活者物価高騰対策支援事業1,523万円でございます。

昨年度の国の補正予算を受け、生活者物価高騰対策支援事業として、補正予算（第1号）でプレミアム商品券事業第3弾をお認めいただいたところでございます。このたび国の予備費分の追加配分がありましたので、物価高騰に対し、家計の可処分所得を拡大し、暮らしの下支えを図ることを目的に、町指定ごみ袋の購入支援事業を実施いたします。

内容は、通常1袋10枚入り500円のところを200円助成し、300円で販売するもので、1世帯5袋50枚を購入限度とするものでございます。つきましては、需要費としてごみ袋の購入費、購入引換券の印刷代の補正をお願いするものでございます。

続きまして、目、企画費、補正額22万円、節区分、役務費22万円は、企業版ふるさと寄附金に係る金融機関への決済手数料でございます。

続きまして、目の基金費、補正額100万円、財源内訳、特定財源、その他、寄附金100万円は、町外企業1社からの寄附金でございます。

節区分、積立金100万円は、企業版ふるさと納税基金への積立金でございます。

最下段の表、項の選挙費、目、参議院議員選挙費、補正額13万3,000円、財源内訳、特定財源、国県支出金の県支出金13万3,000円は選挙執行委託金

でございます。

節区分、報酬13万3,000円は、前議案第50号の条例一部改正で議決を賜りました選挙に係る投票立会人などの報酬日額の改定に伴い、増額された差額分の補正をお願いするものでございます。

議長 定益生活環境課長。

生活環境課長 続きまして、生活環境課分でございます。

引き続き、議案書9ページをお願いいたします。

中段の款、総務費、項、総務管理費、目、一般管理費、補正額1,723万円のうち、生活環境課分としまして、コミュニティバス運行経費に係る補正として200万円でございます。全て一般財源でございます。

節区分、需用費、修繕費、補正額200万円は、町内の南部を定路線として運行しておりますコミュニティバスが5月末から故障のため運行不能となっております。点検の結果、エンジン系統の不具合が確認されましたので、緊急に対応が必要となりました修繕費の増額をお願いするものでございます。

以上、議第51号 令和7年度安八郡安八町一般会計補正予算（第2号）につきまして、御審議賜りますようよろしくお願いいたします。

議長 本件について、質疑を行います。

〔「質疑なし」の声あり〕

議長 質疑を打ち切り、討論を行います。

〔「討論なし」の声あり〕

議長 討論を打ち切り、採決を行います。

本件について、原案どおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、議第51号は原案どおり可決いたしました。

以上、本定例会に提出されました案件は全て議了いたしました。

これをもって、令和7年第2回安八町議会定例会を閉会いたします。

(閉会時間 午後0時32分)

上記のとおり会議の次第をここに記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年6月20日

議 長 岩 田 讓 治

議 員 渡 邊 裕 光

議 員 石 原 英 一